

令和7年度

北九州工業高等専門学校 自己点検・自己評価書

令和8年6月

北九州工業高等専門学校

Ⅲ 基準ごとの自己評価等

領域1 教育の内部質保証システム (※R6 自己点検結果)

基準			
【重点評価項目】			
1-1 内部質保証に係る体制が明確に規定されていること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)			
以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。			
○ 満たしている ◎ 満たしていない			
観点1-1-1① 教育活動を中心とした学校の活動の総合的な状況について、学校として定期的に自己点検・評価を実施するための方針、体制等が整備されていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学校として定期的に自己点検・評価を実施するための方針が定められていること。 ◎ 定められている ○ 定められていない	◇自己点検評価及び評価に関する基本方針(自己点検・評価の基準・項目、担当組織を含む)が明示されている規程等 資料1-1-1-(1)-01_自己点検・自己評価規則.pdf 資料1-1-1-(1)-02_自己点検・自己評価規則_別表.pdf		
(2) (1)の方針において、自己点検・評価の実施体制(委員会等)が整備されていること。 ○ 整備されている ◎ 整備されていない	◇実施体制等が確認できる資料(学則、自己点検評価規程等) 資料1-1-1-(2)-01_自己点検・評価室規則.pdf 資料1-1-1-(2)-02_組織図.pdf	【要改善】 前回の認証評価で使用した組織図の更新ができていない。 ⇒R8.4 第1回JABEE・KIS・認証評価室委員会で審議済み。 R8.4 自己点検・自己評価規則を改正して対応済み。(別図1)	
(3) 施設・設備、学生支援に関し、学校として定期的に自己点検・評価を実施するための方針が定められていること。 ○ 定められている ◎ 定められていない	◇自己点検評価及び評価に関する基本方針(自己点検・評価の基準・項目、担当組織を含む)が明示されている規程等 資料1-1-1-(1)-01_自己点検・自己評価規則.pdf 資料1-1-1-(1)-02_自己点検・自己評価規則_別表.pdf	【要改善】 領域3に点検項目としては明記しているが、基本方針とは言えない。 ⇒R8.4 自己点検・自己評価規則を改正し対応済み。	再掲 再掲
(4) (3)の方針において、自己点検・評価の実施体制(委員会等)が整備されていること。 ○ 整備されている ◎ 整備されていない	◇関係委員会の規程等 資料1-1-1-(2)-01_自己点検・評価室規則.pdf	【要改善】 この項目に特化した組織図はない。 ⇒R8.4 各委員会の規則を改正し対応済み。	再掲

<p>(5)第三者評価の結果を教育の質の改善・向上に結び付けるための方針が定められていること。</p> <p><input type="radio"/> 定められている <input checked="" type="radio"/> 定められていない</p>	<p>◇第三者評価に関する基本方針が明示されている規程等</p>	<p>【要改善】現時点で基本方針はない。 ⇒R8.4 自己点検・自己評価規則改正により対応済み。</p>	
<p>(6)(5)の方針において、第三者評価の結果を教育の質の改善・向上に結び付けるための体制が整備されていること。</p> <p><input type="radio"/> 整備されている <input checked="" type="radio"/> 整備されていない</p>	<p>◇実施体制等が確認できる資料(学則、関係規程等)</p> <p>資料1-1-1-(1)-02_自己点検・自己評価規則_別表.pdf</p> <p>資料1-1-1-(6)-01_運営協議会規則.pdf</p> <p>資料1-1-1-(6)-02_JABEE・認証評価室規則.pdf</p> <p>資料1-1-1-(2)-02_組織図.pdf</p>	<p>【要改善】担当は決まっているが、各規則に明記されているとは言えない状態である。 ⇒R8.4 自己点検・自己評価規則改正により対応済み。</p>	<p>再掲</p> <p>再掲</p>
<p>1-1 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。</p>			
<p>基準 【重点評価項目】 1-2 内部質保証のための手順が、学校の目的及び三つの方針*を踏まえて明確に規定されていること * 卒業(修了)の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)(以下、「DP」という。) 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)(以下、「CP」という。) 入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)(以下、「AP」という。)</p>			
<p>基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。</p> <p><input type="radio"/> 満たしている <input checked="" type="radio"/> 満たしていない</p>			
<p>観点1-2-① 以下の事項を内部質保証体制が確認する手順を有していること (1)DPが学校の目的に基づき定められていること (2)CPが学校の目的及びDPと整合性をもって定められていること (3)APが学校の目的に基づき定められていること (4)学習成果の達成がDPの求める卒業(修了)に必要な水準となっていること</p>			
<p>自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)</p> <p>(1)学校の目的及び三つの方針について、社会の状況等を把握し、学校自らが点検する体制が整備されていること。</p> <p><input type="radio"/> 整備されている <input checked="" type="radio"/> 整備されていない</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p> <p>◇点検を行う体制が確認できる資料(関連委員会の規程等)</p> <p>資料1-1-1-(1)-01_自己点検・自己評価規則.pdf</p> <p>資料1-1-1-(2)-02_組織図.pdf</p> <p>資料1-2-1-(1)-01_R05_教学マネジメント_アセスメント評価_実施方法.pdf</p>	<p>備考</p> <p>【要改善】前回の認証評価で定めた組織図はあるが、現状に即しているとは言えない。 ⇒R8.4 自己点検・自己評価委員会規則改正により対応済み。(別図1)</p> <p>【要改善】専攻科3ポリ変更に対して校長裁定が追いついていない現状もある。 ⇒R8.4 3つのポリシーの改正により対応済み</p>	<p>再掲</p> <p>再掲</p>

観点1-2-② 教育課程ごとの点検・評価において、領域5の各基準に基づく判断を行うことが定められていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1)教育課程ごとの点検・評価において、以下の内容の点検・評価を行うことが規程等で定められていること。(すべての項目にチェック必須)	◇チェック項目の点検・評価が実施されていることが確認できる資料(関連規程等)		
<input checked="" type="checkbox"/> DPが具体的かつ明確であること	資料1-1-1-(1)-02_自己点検・自己評価規則_別表.pdf	別表領域4、領域5で規定済。実施するのは次年度の予定。	再掲
<input checked="" type="checkbox"/> CPが具体的かつ明確であり、DPと整合していること			
<input checked="" type="checkbox"/> 教育課程がCPに基づき体系的に編成され、授業科目の内容がDPIに基づき設定されていること			
<input checked="" type="checkbox"/> DP及びCPに基づき、適切な授業形態、学習指導方法が採用されていること			
<input checked="" type="checkbox"/> 適切な履修指導、支援が行われていること			
<input checked="" type="checkbox"/> CPIに基づき、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること			
<input checked="" type="checkbox"/> 学校の目的及びDPIに基づき、公正な卒業判定が実施されていること			
<input checked="" type="checkbox"/> 学校の目的及びDPIに基づき、適切な学習成果が得られていること			
<input checked="" type="checkbox"/> APが具体的かつ明確であること			
<input checked="" type="checkbox"/> 学生の受入が適切に実施されていること			
<input checked="" type="checkbox"/> 実入学者数が入学定員に対して適正な数となっていること			
観点1-2-③ 施設・設備、学生支援に関して行う自己点検・評価の方法が定められていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1)基準1-1の方針において、若しくは同方針に基づいて、自己点検・評価の基準・項目等が設定されていること。	◇自己点検・評価の基準・項目等が確認できる資料(基本方針、関連規程等)		
<input type="checkbox"/> 設定されている <input checked="" type="checkbox"/> 設定されていない	資料1-1-1-(1)-02_自己点検・自己評価規則_別表.pdf	領域3で規定済	再掲
観点1-2-④ 関係者の意見を聴取する仕組みが設けられていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1)自己点検・評価の実施に際して、次の各関係者の意見が反映されるようになっていること。(すべての項目にチェック必須)	◇自己点検・評価の基準・項目等が確認できる資料(基本方針、関連規程等)		
<input type="checkbox"/> 教員	資料1-1-1-(2)-01_自己点検・評価室規則.pdf	【要改善】実際には実施しているが、関連規定に明記されていない。 ⇒R8.4 自己点検・自己評価規則の改正により対応済み。	再掲
<input type="checkbox"/> 職員	資料1-1-1-(1)-02_自己点検・自己評価規則_別表.pdf		再掲
<input type="checkbox"/> 在学生			
<input type="checkbox"/> 卒業(修了)時の学生			
<input type="checkbox"/> 卒業(修了)から一定年数後の卒業(修了)生			
<input type="checkbox"/> 保護者			
<input type="checkbox"/> 中学校・地方公共団体・民間企業その他の関係者	◇就職先又は進学先について、関係者の参画する会議体、対象としたアンケートに係る規程等	アンケート実施規定を作成し、それを自己点検・自己評価規則に盛り込む予定	

<p>(2) 自己点検・評価の実施において、聴取された意見の評価結果及び他の様々な評価の結果や指摘の内容を踏まえて行っているか。(複数チェック可)</p> <p>【在学生の意見聴取】</p> <p><input type="checkbox"/> 学習環境に関する評価</p> <p><input type="checkbox"/> 学生による授業評価</p> <p><input type="checkbox"/> 学生による満足度評価（進級時等、卒業（修了）前の評価）</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <p>【卒業（修了）時の意見聴取】</p> <p><input type="checkbox"/> 卒業（修了）時の学生による満足度評価</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <p>【卒業（修了）後の意見聴取】</p> <p><input type="checkbox"/> 卒業（修了）後の学生による学習成果の効果に関する評価</p> <p><input type="checkbox"/> 就職先等による卒業生に対する評価</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <p>【外部評価】</p> <p><input type="checkbox"/> 外部有識者の検証</p> <p><input type="checkbox"/> 教育活動に関する第三者評価（機関別認証評価、JABEE等。）</p> <p><input type="checkbox"/> 設置計画履行状況等調査</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>	<p>◇各評価結果等を踏まえて自己点検・評価が行われていることを示す報告書等の該当箇所（自己点検評価報告書の該当箇所又は担当組織の議事要旨、会議資料等）</p>	<p>【要改善】自己点検評価報告書準備中のため、現状では確認できない。 ⇒R8.4 自己点検・自己評価規則を改正。 R8年度中に対応予定。</p> <p>次年度以降に実施予定。どの委員会が中心となって行かを明記する必要がある。</p>	
<p>観点1-2-⑤ 内部質保証体制において共有、確認された自己点検・評価結果(設置計画履行状況等調査において付される意見等、監事、会計監査人からの意見、外部者による意見及び当該自己点検・評価を基に受けた第三者評価の結果を含む。)を踏まえた対応措置について検討、立案、提案する手順が定められていること</p>			
<p>自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)</p> <p>(1) 基準1-1の方針において、若しくは同方針に基づいて、自己点検・評価の結果を踏まえた対応措置について検討、立案、提案するための手順が規定されていること。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 規定されている <input type="radio"/> 規定されていない</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p> <p>◇自己点検・評価の結果を踏まえた対応措置について検討、立案、提案するための手順を定めた規程等</p> <p>資料1-1-1-(1)-01_自己点検・自己評価規則.pdf</p>	<p>備考</p>	<p>再掲</p>
<p>観点1-2-⑥ 内部質保証体制において承認された対応措置の計画を実施する手順が定められていること</p>			
<p>自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)</p> <p>(1)内部質保証体制において承認された対応措置の計画を実施するための手順が規定されていること。</p> <p><input type="radio"/> 規定されている <input checked="" type="radio"/> 規定されていない</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p> <p>◇内部質保証体制において承認された対応措置の計画を実施するための手順を定めた規程等</p> <p>資料1-1-1-(1)-02_自己点検・自己評価規則_別表.pdf</p>	<p>備考</p> <p>【要改善】校長からの改善指示後の手順が定められていない。 ⇒R8.4 自己点検・自己評価規則の改正により対応済み。</p>	<p>再掲</p>
<p>観点1-2-⑦ 内部質保証体制において、その決定した計画の進捗を確認するとともに、必要な対処方法を決定する手順が定められていること</p>			
<p>自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)</p> <p>(1) 対応計画の進捗の確認、進捗状況に応じた対応を決定する手順が規定されていること。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 規定されている <input type="radio"/> 規定されていない</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p> <p>◇対応計画の進捗確認、進捗状況に応じた対応を決定する手順について定めた規程等</p> <p>資料1-1-1-(1)-02_自己点検・自己評価規則_別表.pdf</p>	<p>備考</p> <p>【要改善】校長からの改善指示後の手順が定められていない。 ⇒R8.4 自己点検・自己評価規則の改正により対応済み。</p>	<p>再掲</p>

観点1-2-② 自己点検・評価の結果が公表されていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1)自己点検・評価を実施し、その結果が公表されていること。 ○ 公表されている ● 公表されていない	◇【様式2-4】ウェブサイト掲載項目チェック表		
		【要改善】平成30年度～令和4年度の報告書が公表されていない。 ⇒対応済み。	
1-2 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			
基準			
【重点評価項目】			
1-3 自己点検・評価や第三者評価の結果を教育の質の改善・向上に結び付けていること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)			
以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 ○ 満たしている ● 満たしていない			
観点1-3-① 内部質保証体制において、機関別認証評価や第三者評価の結果を踏まえた改善がなされていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 前回の機関別認証評価における評価結果において、「改善を要する点」として指摘された事項に対応していること。 ○ 対応している ● 対応していない	◇対応状況が確認できる資料(指摘事項に対する改善策を審議・策定していることが確認できる会議資料、議事録等)	令和7年度末時点で未対応の項目もあるが、令和8年度の自己点検時にすべての項目について対応完了予定	
(2)(1)以外で、自己点検・評価や第三者評価の結果を踏まえた課題等を確認し、実際に改善していること。 ○ 行っている ● 行っていない	◇基準1-2の各観点に係る取組において実施した対応や措置が確認できる資料(自己点検・評価報告書、第三者評価の該当箇所、その他)		
	資料1-3-1-(2)-01_R7自己点検・自己評価結果報告書.pdf		
	資料1-3-1-(2)-02_R7運営協議会議事要録(確定版).pdf	令和7年度運営協議会における指摘事項は、令和8年度運営協議会で改善予定	
	◇評価結果を受けた改善の取組が確認できる資料(改善例等)		
1-3 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			

領域1

優れた点			
改善を要する点			

領域2 教育組織及び教員・教育支援者等 (※R7 自己点検結果)

<p>基準 2-1 学校の教育に係る基本的な組織構成が、学校の目的に照らして適切なるものであること</p>			
<p>基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック○) 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 <input checked="" type="radio"/> 満たしている <input type="radio"/> 満たしていない</p>			
<p>観点2-1-① 学科の構成が、学校の目的に照らして、適切となっていること</p>			
<p>自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック○) (1) 学科の構成が学校の目的(自己評価書Ⅱに記載したもの。)及びDPと整合性がとれていること。 <input checked="" type="radio"/> 整合性が取れている <input type="radio"/> 整合性がとれていない</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄 ◇DP、学則、学校要覧等 資料2-1-1-(1)-01 学科の構成がわかる資料.pdf 資料2-1-1-(1)-02 準学士課程のDP.pdf 本校では「教育基本法にのっとり、学校教育法に基づいて、深く工業に関する専門の教育を授け、産業の興隆及び文化の発展に貢献し得る有能な技術者を育成する」という本校の目的を果たすべく「生産デザイン工学科」1学科を置いているので整合性は取れている。また、社会や地域の成長戦略を考慮し、2年次後半より5つの専門コースを設けているが、ディプロマ・ポリシーに専門コースごとの学修成果を示しており、この点も整合性は取れている。</p>	<p>備考 第2条に記載</p>	<p>再掲</p>
<p>観点2-1-② 専攻の構成が、学校の目的に照らして、適切なものとなっていること</p>			
<p>自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック○) (1) 専攻の構成が学校の目的(自己評価書Ⅱに記載したもの。)及びDPと整合していること。 <input checked="" type="radio"/> 整合している <input type="radio"/> 整合していない</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄 ◇DP、学則、学校要覧等 資料2-1-1-(2)-01 専攻科の構成がわかる資料.pdf 資料2-1-1-(2)-02 専攻科課程のDP.pdf 本校では、学校教育法に基づいて学則第56条に定めた目的を果たすべく、生産デザイン工学専攻の1専攻のみで構成される専攻科を設置しているため整合性は取れている。また本校専攻科の教育内容はディプロマ・ポリシーと整合性は取れている。</p>	<p>備考 第56条に記載</p>	<p>再掲</p>
<p>2-1 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。</p>			
<p> </p>			
<p> </p>			
<p>基準 2-2 教育活動を展開する上で必要な運営体制が適切に整備されていること</p>			
<p>基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック○) 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしていること。 <input checked="" type="radio"/> 満たしている <input type="radio"/> 満たしていない</p>			

観点2-2-① 教員の組織的な役割分担の下で、教育に係る責任の所在が明確になっていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 教育活動を有効に展開するための検討・運営体制が整備されていること。 <input checked="" type="radio"/> 整備されている <input type="radio"/> 整備されていない	◇教育活動を有効に展開するため必要と考えられる教務・学生支援・入試等の委員会の組織体制が確認できる資料(当該事項を審議するための組織の構成図、運営規程等)		
	資料2-2-1-(1)-01_北九州工業高等専門学校内部組織規則.pdf		
	資料2-2-1-(1)-02_組織図.pdf		
	資料2-2-1-(1)-03_北九州工業高等専門学校教務委員会規則.pdf		
	資料2-2-1-(1)-04_北九州工業高等専門学校専攻科委員会規則.pdf		
	資料2-2-1-(1)-05_北九州工業高等専門学校厚生補導委員会規則.pdf		
	資料2-2-1-(1)-06_北九州工業高等専門学校学生寮委員会規則.pdf		
	資料2-2-1-(1)-07_北九州工業高等専門学校入学試験委員会規則.pdf		
	資料2-2-1-(1)-08_北九州工業高等専門学校専攻科入学試験委員会規則.pdf		

観点2-2-② 全校的見地から、校長等の下で教育研究活動について審議し又は実施する組織が整備されていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 教育研究活動を全校的に審議し又は実施する組織について、構成、責任体制及び審議事項、組織及び議事の運営に関することその他の必要な事項が規定されていること。 <input checked="" type="radio"/> 規定されている <input type="radio"/> 規定されていない	◇教育研究活動について審議し又は実施する組織について定めている規程等		
	資料2-2-1-(1)-01_北九州工業高等専門学校内部組織規則.pdf 資料2-2-2-(1)-01_北九州工業高等専門学校運営委員会規則.pdf		再掲
(2)(1)の組織において、具体的な審議等がなされているか。 <input checked="" type="radio"/> 審議等がなされている <input type="radio"/> 審議等がなされていない	◇評価の前年度の実施された同組織における会議の審議事項、資料及び議事要旨等		
	資料2-2-2-(2)-01_令和7年度第1回運営委員会議事要録.pdf		

2-2 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

基準
2-3 教育活動を展開する上で必要な教員が適切に整備されていること
 基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)
 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。
 満たしている 満たしていない

観点2-3-① 設置基準に照らして、必要な人数の教員が配置されていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 一般科目担当の基幹教員が法令に従い、確保されていること。 <input checked="" type="radio"/> 確保されている <input type="radio"/> 確保されていない	◇【様式2-1】高等専門学校現況表		
(2) 専門科目担当の基幹教員が法令に従い、確保されていること。 <input checked="" type="radio"/> 確保されている <input type="radio"/> 確保されていない	◇【様式2-1】高等専門学校現況表		

観点2-3-② 専攻科課程に必要な各分野の教育研究能力を有する専攻科担当教員が適切に配置されていること			
(根拠理由欄) 特例適用専攻科の認定に係る結果を利用する場合は、当該結果が利用できると判断した根拠理由を本欄に記述すること。 なお、利用しない場合は、下記の自己点検・評価結果の各項目について分析すること。			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 専攻科の授業科目担当教員が適切に確保されていること。 ◎ 確保されている ○ 確保されていない	◇[様式2-3]担当教員一覧表等 ◇(必要に応じ)検討や取組の状況が確認できる資料		
観点2-3-③ 教員の年齢及び性別の構成が著しく偏ることがないよう適切な配慮がなされていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 教員の配置について、教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢あるいは性別に著しく偏ることのないよう配慮されていること。 ◎ 配慮されている ○ 配慮されていない	◇[様式2-6]教員の年齢・性別構成 ◇(必要に応じ)検討や取組の状況が確認できる資料		
2-3 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			
基準			
2-4 組織的に、教員の質を確保し、その維持、向上を図っていること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎) 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 ○ 満たしている ◎ 満たしていない			
観点2-4-① 教員の採用及び昇任に当たって、教育上、研究上又は実務上の知識、能力及び実績に関する判断の方法等が明確に定められていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 教員(基幹教員以外の教員を除く。)の採用・昇任に関する基準が法令に従い定められていること。 ◎ 定められている ○ 定められていない	◇教員の採用・昇任に係る体制、基準、手続等に関する規程等(教員選考規則、昇任基準、審査要領等) 資料2-4-1-(1)-01_北九州工業高等専門学校教員選考規則.pdf 資料2-4-1-(1)-02_北九州工業高等専門学校教員選考基準.pdf ◇教育経歴、実務経歴、性別構成その他に配慮していることが確認できる資料		
(2) (1)の基準に基づき、実際の採用・昇任が行われていること。 ◎ 行われている ○ 行われていない	◇公募要領・様式、実績状況に関する資料等 資料:なし 採用・昇任に関する規則はR7.7.1に改正したため、改正後の基準による採用・昇任は実施中のため、現時点では資料無し。実施後に提出。		
観点2-4-② 全教員の教育研究活動に対して、規程等に基づき学校による定期的な評価の仕組みがあること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 全教員(基幹教員以外の教員を除く。)]に対して校長又はその委任を受けた者による教育上の能力や活動実績に関する評価を定期的に行う体制が整備されていること。 ◎ 整備されている ○ 整備されていない	◇実施体制等が確認できる資料(評価実施規程、教員評価の基準を定めたもの等) 資料2-4-2-(1)-01_北九州工業高等専門学校功労者表彰規則.pdf 資料2-4-2-(1)-02_功労者表彰推薦書他.pdf ◇評価の前年度に実施された評価実施組織における会議の審議事項、資料及び議事要旨等		

観点2-4-③ 教員評価で把握された事項に対して、評価の目的に即した取組を行う仕組みがあること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 把握した評価結果を基に行う取組が規定されているか。(複数チェック可)	◇取組に関する規程等(評価実施規程、改善指導について定めた規程等)		
<input type="checkbox"/> 給与における措置	資料2-4-2-(1)-01_北九州工業高等専門学校功労者表彰規則.pdf		再掲
<input type="checkbox"/> 教育研究費配分における措置	資料2-4-2-(1)-02_功労者表彰推薦書他.pdf		再掲
<input type="checkbox"/> 改善に向けた指導	◇評価の前年度に実施された評価実施組織における会議の審議事項、資料及び議事要旨等		
<input checked="" type="checkbox"/> 表彰			
<input type="checkbox"/> その他	◆その他の項目をチェックした場合は、内容を列記し、その状況が確認できる資料を提示する。		
観点2-4-④ 授業の内容及び方法の改善を図るためのファカルティ・ディベロップメント(FD)*が組織的に実施されていること			
*ファカルティ・ディベロップメント(以下、「FD」という。)			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学校として、授業の内容及び方法の改善を図るためにFDを実施する体制が整備されていること。 <input type="radio"/> 整備されている <input checked="" type="radio"/> 整備されていない	◇実施体制・実施方針・内容・方法が確認できる資料(FDの実施方針、委員会規程、委員会等の組織関係図等)		
		【要改善】FDに関する事項は規則等を見直し中のため、見直し後に提出。	
(2) 定期的にFDが実施されていること。 <input type="radio"/> 実施されている <input checked="" type="radio"/> 実施されていない	◇実施状況一覧		
		【要改善】FDに関する事項は規則等を見直し中のため、見直し後に提出。	
2-4 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			
基準			
2-5 教育活動を支援又は補助する者が適切に配置され、資質の向上を図るための取組が適切に行われていること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)			
以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。			
<input type="radio"/> 満たしている <input checked="" type="radio"/> 満たしていない			
観点2-5-① 教育活動を展開するために必要な教育支援者や指導補助者が配置されていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 教育支援者(事務職員、技術職員、助手等。)が法令に従い適切に配置されていること。 <input checked="" type="radio"/> 配置されている <input type="radio"/> 配置されていない	◇【様式2-1】高等専門学校現況表		
	◇役割分担が確認できる資料(事務組織規程、事務組織図、技術室規程)		
	資料2-5-1-(1)-01_組織図.pdf		
	資料2-2-1-(1)-01_北九州工業高等専門学校内部組織規則.pdf		再掲
	資料2-5-1-(1)-02_北九州工業高等専門学校教育研究支援センター規則.pdf		
	◇助手を配置する場合、助手の位置付け・支援内容と人数配置状況が明示されている資料		
	資料:なし		

(2) 図書館に専門的職員、その他の専属の教員又は事務職員等が配置されていること。 <input checked="" type="radio"/> 配置されている <input type="radio"/> 配置されていない <input checked="" type="radio"/> 規定されている <input type="radio"/> 規定されていない	◇【様式2-1】高等専門学校現況表		
	資料2-5-1-(3)-01_北九州工業高等専門学校外国人留学生規則.pdf		
	資料2-5-1-(3)-02_北九州工業高等専門学校短期留学生細則.pdf ◇指導補助者の定義、業務内容、採用手続について定めた規程		

観点2-5-② 教育活動を展開するために必要な教育支援者や指導補助者が担当する業務に応じて、研修等、必要な資質の維持、向上を図る取組が組織的に実施されていること

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 教育支援者(事務職員、技術職員、図書館職員、助手等。)に対して、研修や技術教育研究発表会などで資質の向上を図るための取組が適切に行われていること。 <input checked="" type="radio"/> 行われている <input type="radio"/> 行われていない	◇実施状況一覧		
	資料2-5-2-(1)-01_令和7年度学務担当者向けオンデマンド研修実施要領.pdf		
	資料2-5-2-(1)-02_令和6年度九州地区国立大学法人等技術専門職員・中堅技術職員研修実施要項.pdf		
	資料2-5-2-(1)-03_令和7年度西日本地域高等専門学校技術職員特別研修会実施要項.pdf		
	資料2-5-2-(1)-04_令和7年度九州地区国立大学法人等技術職員スキルアップ研修B実施要項.pdf		
	資料2-5-2-(1)-05_令和7年度第5ブロック国立高等専門学校技術職員研修実施要項.pdf		
(2) 指導補助者を配置する場合、研修、オリエンテーション、指導・助言などで資質の向上を図るための取組が適切に行われていること。 <input type="radio"/> 行われている <input checked="" type="radio"/> 行われていない	◇研修の内容が確認できる資料		
			【要改善】チューターに対する指導・助言は、コース等で実施し、人事委員会では行っていない。
	◇実施状況一覧		

2-5 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

領域2

優れた点

改善を要する点

領域3 学習環境及び学生支援等 (※R7 自己点検結果)

基準			
3-1 教育組織及び教育課程に対応した施設・設備が整備されていること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)			
以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。			
◎ 満たしている ○ 満たしていない			
観点3-1-① 教育活動を展開する上で必要な施設・設備が法令に基づき整備されていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 校地・校舎面積が法令に従い適切に確保されていること。 ◎ 確保されている ○ 確保されていない	◇【様式2-1】高等専門学校現況表		
(2) 法令に従い必要な施設が整備されていること。 ◎ 整備されている ○ 整備されていない	◇【様式2-1】高等専門学校現況表 ◇設置状況が確認できる資料(キャンパスマップ、学生便覧等) 資料3-1-1-(2)-01_必要な施設が整備されていることがわかる資料.pdf	設置基準第23条及び24条の施設を示す。	
(3) 学科の種類に応じ、附属施設が法令に従い適切に整備されているか。(複数チェック可) <input checked="" type="checkbox"/> 実験・実習工場 <input type="checkbox"/> 練習船 <input type="checkbox"/> その他	◇【様式2-1】高等専門学校現況表 ◇設置状況が確認できる資料(キャンパスマップ、学生便覧等) 資料3-1-1-(3)-01_附属施設が整備されていることがわかる資料.pdf ◆その他の項目をチェックした場合は、その施設を具体的に記述する。	ものづくりセンター・第一工場、ものづくりセンター・第二工場、総合研究実験棟、地域共同テクノセンターを設置している。	
(4) 教育研究環境の充実を図るため、(1)～(3)以外の施設・設備が設けられているか。(複数チェック可) <input checked="" type="checkbox"/> 厚生施設 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーションスペース <input checked="" type="checkbox"/> 自主的学習スペース <input type="checkbox"/> その他	◇設置状況が確認できる資料(キャンパスマップ、学生便覧等) 資料3-1-1-(4)-01_配置図.pdf 資料3-1-1-(4)-02_厚生施設・コミュニケーションスペース・自主的学習スペースがわかる資料写真.pdf ◆その他の項目をチェックした場合は、その施設を具体的に記述する。		

観点3-1-② 施設・設備における安全性について配慮する体制が整備されていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 施設・設備の安全衛生管理体制が整備されていること。 ◎ 整備されている ○ 整備されていない	◇安全衛生管理体制が確認できる資料(安全衛生管理規程、関係委員会規程等)		
	資料3-1-2-(1)-01_安全衛生管理体制が確認できる資料.pdf	第4・5条	
	資料3-1-2-(1)-02_職場巡視を行っていることがわかる資料.pdf		
	資料3-1-2-(1)-03_職場巡視点検項目.pdf		
	◇設備使用に関する規程、設備利用の手引き等		
	資料3-1-2-(1)-04_学校施設・設備使用規則.pdf		
(2) 施設・設備のバリアフリー化の配慮が行われていること。 ◎ 配慮が行われている ○ 配慮が行われていない	◇施設・設備の整備状況・整備計画等のバリアフリー化の取組を示す資料(障がい者差別解消法の合理的配慮について確認できる資料)		
	資料3-1-2-(2)-01_バリアフリー計画.pdf		
	資料3-1-2-(2)-02_トイレ整備計画.pdf		
	資料3-1-2-(2)-03_バリアフリー例01 8号館.pdf	多目的トイレ、EV、スロープの整備	
	資料3-1-2-(2)-04_バリアフリー例02 4号館.pdf	多目的トイレの整備	
	資料3-1-2-(2)-05_バリアフリー例03 1号館.pdf	多目的トイレの整備	
資料3-1-2-(2)-06_バリアフリー例04 2号館.pdf	EVの整備		
観点3-1-③ 図書館において、教育研究上必要な資料を整備していること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 図書館を法令に従い備えていること。 ◎ 備えている ○ 備えていない	◇【様式2-1】高等専門学校現況表		
	資料3-1-3-(1)-01_北九州工業高等専門学校学術情報センター規則.pdf		
	資料3-1-3-(1)-02_北九州工業高等専門学校図書館規則.pdf		
	資料3-1-3-(1)-03_北九州工業高等専門学校図書室利用規則.pdf		
	資料3-1-3-(1)-04_北九州工業高等専門学校図書室利用要項.pdf		
	資料3-1-3-(1)-05_北九州工業高等専門学校図書館グループ学習室及びキャリアラウンジ利用要項.pdf		
	◇整備状況が確認できる資料(学校要覧、図書情報センター利用案内等)		
(2) 図書、学術雑誌、電子ジャーナルその他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されていること。 ◎ 整備されている ○ 整備されていない	資料3-1-3-(1)-06_学校要覧.pdf		再掲
	◇「大学・短期大学・高等専門学校図書館調査」(日本図書館協会)結果		
	資料3-1-3-(2)-01_日本図書館協会調査結果.pdf		
(3) (2)の資料が、教職員や学生に有効に活用されていること。 ◎ 活用されている ○ 活用されていない	◇「大学・短期大学・高等専門学校図書館調査」(日本図書館協会)結果		
	資料3-1-3-(2)-01_日本図書館協会調査結果.pdf		再掲
	資料3-1-3-(1)-06_学校要覧.pdf		再掲
資料3-1-3-(3)-01_図書館利用統計(貸出冊数、入館者調べ).pdf			

<p>3-1 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。</p>			
Empty row for special notes			
<p>基準 3-2 学生に対して、生活や進路、課外活動、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が行われていること</p>			
<p>基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。</p> <p><input type="radio"/> 満たしている <input checked="" type="radio"/> 満たしていない</p>			
<p>観点3-2-① 学生の生活、健康、就職等進路に関する相談・助言体制及び各種ハラスメント等に関する相談・助言体制が整備されていること</p>			
<p>自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)</p>		<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>	
<p>(1) 学生の生活面における総合的な指導・相談・助言等(メンタルヘルス・ハラスメントに関するものを含む。)の体制が整備されているか。(複数チェック可)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 学生相談室</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 保健室</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 相談員やカウンセラーの配置</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ハラスメント等の相談体制</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 学生に対する相談の案内等</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他</p>		<p>◇チェックした項目の整備状況が確認できる資料(生活指導の体制、指導内容、組織図、関連規程、学生への周知・案内文等)</p> <p>資料3-2-1-(1)-01_北九州工業高等専門学校学生相談室規則.pdf</p> <p>資料3-2-1-(1)-02_保健室の業務内容がわかる資料.pdf</p> <p>資料3-2-1-(1)-03_相談員やカウンセラーの配置がわかる資料.pdf</p> <p>資料3-2-1-(1)-04_ハラスメント等の相談体制に関する規則.pdf</p> <p>資料3-2-1-(1)-05_ハラスメント等の相談窓口についての学生への周知を示す資料.pdf</p> <p>資料3-2-1-(1)-06_学生に対する相談案内に関する資料(学生便覧).pdf</p> <p>◆その他の項目をチェックした場合は、その内容を列記し、その状況が確認できる資料を提示する。</p> <p>資料3-2-1-(1)-07_相談実績がわかる資料(令和5年度～令和6年度).pdf</p>	
<p>(2) 健康相談・保健指導が定期的に行われていること。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 実施されている <input type="radio"/> 実施されていない</p>		<p>◇各取組の実施状況が確認できる資料(過去3年度分の実施要項、学生への周知・案内文等)</p> <p>資料3-2-1-(2)-01_健康診断の実施状況がわかる資料.pdf</p> <p>資料3-2-1-(2)-02_健康診断の日程・検査項目がわかる資料.pdf</p>	
<p>(3) 法令等(いじめ防止対策推進法、いじめの防止等のための基本的な方針)に基づき、いじめの防止、早期発見、対処等に関する体制が整備されていること。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 整備されている <input type="radio"/> 整備されていない</p>		<p>◇実施体制等が確認できる資料(基本方針、マニュアル、関係規程等)</p> <p>資料3-2-1-(3)-01_北九州工業高等専門学校いじめ防止等基本計画.pdf</p> <p>資料3-2-1-(3)-02_北九州工業高等専門学校いじめ防止の取組み.pdf</p>	

観点3-2-② 特別な支援が必要と考えられる学生への学習支援及び生活支援等を適切に行う体制が整備されていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 留学生の学習及び生活に対する支援体制が整備されていること。 ◎ 整備されている ○ 整備されていない	◇整備状況が確認できる資料(関係規程、留学生指導教員・学生チューターの配置状況等) 資料3-2-2-(1)-01_留学生のためのハンドブック.pdf 資料3-2-2-(1)-02_北九州工業高等専門学校グローバル推進センター規則.pdf 資料3-2-2-(1)-03_北九州工業高等専門学校グローバル推進センター委員会規則.pdf 資料3-2-2-(1)-04_北九州工業高等専門学校外国人留学生規則.pdf 資料3-2-2-(1)-05_北九州工業高等専門学校短期留学生細則.pdf 資料3-2-2-(1)-06_留学生チューターマニュアル_グローバル推進センター.pdf 資料3-2-2-(1)-07_R7_留学生名簿_掲示用.pdf 資料3-2-2-(1)-08_2025短期留学生受入予定一覧表.pdf 資料3-2-2-(1)-09_チューター謝金の業務実施確認表R7第一四半期.pdf ◇学生向け周知資料(学生生活の手引き等)		
(2) 編入学生の学習及び生活に対する支援体制が整備されていること。 ○ 整備されている ◎ 整備されていない	◇整備状況が確認できる資料(関係規程等) 資料3-2-2-(2)-01_北九州工業高等専門学校教務委員会規則.pdf 資料3-2-2-(2)-02_令和7年度学務マニュアル.pdf ◇学生向け周知資料(学生生活の手引き等) 資料3-2-2-(2)-03_学生向けの周知がわかる資料(学生便覧).pdf	一般学生全般に適用される支援体制であり「編入学生」のみに適用されるものではない	
(3) 社会人学生の学習及び生活に対する支援体制が整備されていること。 ○ 整備されている ◎ 整備されていない	◇整備状況が確認できる資料(関係規程等) 資料3-2-2-(3)-01_北九州工業高等専門学校専攻科委員会規則.pdf 資料3-2-2-(3)-02_令和8年度専攻科学生募集要項(抜粋).pdf ◇学生向け周知資料(学生生活の手引き等) 資料3-2-2-(3)-03_令和7年度専攻科履修要覧(抜粋).pdf	一般学生全般に適用される支援体制であり「社会人学生」のみに適用されるものではない	
(4) 障害のある学生の学習及び生活に対する支援体制が整備されていること。 ○ 整備されている ◎ 整備されていない	◇整備状況が確認できる資料(関係規程、対象学生の把握方法・対応事例等) 資料3-2-2-(4)-01_北九州工業高等専門学校総合学生支援センター規則.pdf 資料3-2-2-(4)-02_発達障害のある学生への支援体制を定めた規則(介助員).pdf 資料3-2-2-(4)-03_障害のある学生の学習及び生活に対する支援体制がわかる資料.pdf 資料3-2-2-(4)-04_障害のある学生の学習支援体制がわかる資料.pdf ◇学生向け周知資料(学生生活の手引き等)		
(5) 障害者差別解消法第5条及び第7条又は第8条(第9条、第10条、第11条の関係条項も含む。)に対応していること。 ◎ 対応している ○ 対応していない	◇対応状況が確認できる資料(関係規程、対応要領、相談窓口の設置状況等) 資料3-2-2-(5)-01_障害差別解消法に対応した取り組みがわかる資料.pdf		
(6) 上記以外の特別な支援を行っているか。 ◎ 行っている ○ 行っていない	◆左記について、該当する取組があれば、資料を基に記述する。 資料3-2-3-(6)-01_特別な支援がわかる資料.pdf		

観点3-2-③ 就職や進学等の進路指導を含め、キャリア教育の体制が整備され、機能していること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 就職や進学等の進路指導を含め、キャリア教育の体制が整備されていること。 ● 整備されている ○ 整備されていない	◇体制の整備状況が確認できる資料(関係規程等)		
	資料3-2-3-(1)-01_北九州工業高等専門学校キャリア教育推進室委員会規則.pdf	本校では、学生のキャリア形成並びに就職及び進学等を支援するため、平成27年度にキャリア支援室を設置した。	
(2) (1)の体制の下、就職や進学等の進路指導を含めたキャリア教育に関して、学校としてどのような取組を行っているか。(複数チェック可) <input checked="" type="checkbox"/> キャリア教育に関する研修会・講演会の実施 <input type="checkbox"/> 進路指導用マニュアルの作成 <input checked="" type="checkbox"/> 進路指導ガイダンスの実施 <input type="checkbox"/> 進路指導室 <input checked="" type="checkbox"/> 進路先(企業)訪問 <input checked="" type="checkbox"/> 進学・就職に関する説明会 <input type="checkbox"/> 資格試験や検定試験のための補習授業や学習相談 <input type="checkbox"/> 資格取得による単位修得の認定 <input checked="" type="checkbox"/> 外国留学に関する手続きの支援、単位認定、交流協定の締結等 <input checked="" type="checkbox"/> その他	◇チェックした項目の取組状況が確認できる資料(関係規程、実施要項、マニュアル、連携協定等)		
	資料3-2-3-(1)-01_北九州工業高等専門学校キャリア教育推進室委員会規則.pdf	特別活動の時間や放課後を活用して、キャリア教育に関する研修会や講演会を複数開催を予定している。また、本科1,3,4年と専攻科1年生を対象として、PROGテストを実施し、自己分析等のサポートも行っている。	再掲
	資料3-2-3-(2)-02_キャリア教育に関する研修会(PROG).pdf		
	資料3-2-3-(2)-03_進路指導ガイダンス.pdf	4年生の6月に、進路指導ガイダンスを行っている。	
	資料3-2-3-(2)-04_市内企業と就職に関する情報交換をしていることがわかる資料.pdf	教員は北九州市が主催する市内企業との就職情報交換会に参加している。学生は各学年で年2回地元企業の工場を訪問し、業務内容の詳細を学んだ上で、施設見学を行っている。工場見学は授業の一環として実施しており、対象クラスの学生は全員参加している。	
	資料3-2-3-(2)-05_短期工場見学を実施していることがわかる資料.pdf		
	資料3-2-3-(2)-06_OBOGによる業界セミナー開催記録.pdf	本校主催でOBOGによる企業説明や地元企業を紹介する説明会、就活支援企業による企業説明会にも積極的に学生を参加させている。本校においても、高専技術コンソーシアム会員の企業紹介イベントを開催している。主要な産業界で活躍しているエンジニアによる講演会を実施している。大学編入に関する説明会も随時実施している。	
	資料3-2-3-(2)-07_R6年度就職支援企業主催の就活イベントの参加状況.pdf		
	資料3-2-3-(2)-08_R6年度就職支援企業主催の就活イベントの案内.pdf		
	資料3-2-3-(2)-09_R6年度北九州高専技術コンソーシアム会員企業紹介イベント.pdf		
	資料3-2-3-(2)-10_令和4年度キャリア教育に関する講演会(JEITA).pdf		
	資料3-2-3-(2)-11_R6年度大学説明会開催実施状況がわかる資料.pdf		
	資料3-2-3-(2)-12_創立50周年記念事業基金規則.pdf	本校では、創立50周年記念基金および創立60周年記念基金に基づく本校学生の海外派遣助成事業を実施している。外国留学した場合、単位の認定要件を満足すれば、単位として認定している。また、複数の海外大学と交流協定を締結している。	
	資料3-2-3-(2)-13_創立60周年記念事業基金規則.pdf		
	資料3-2-3-(2)-14_R7年度創立50周年事業計画.pdf		
	資料3-2-3-(2)-15_外国留学に関する単位認定がわかる資料.pdf		
	資料3-2-3-(2)-16_交流協定締結大学等一覧.pdf		
	◆その他の項目をチェックした場合は、具体的な内容を列記し、その状況が確認できる資料を提示する。		
	資料3-2-3-(2)-18_教育サポーターの職務内容がわかる資料.pdf	インターンシップや就職・進学に関する教育のサポートを行うため教育サポーター(非常勤職員)を配置している。教育サポーターは、主に長期インターンシップの運用、地元企業との連携を担当している。実習終了後は、報告会を実施しているが、機密情報として取り扱うため、関係者のみが聴講し、非公開で行っている。	
	資料3-2-3-(2)-19_準学士課程4年対象長期学外実習の内容がわかる資料.pdf		
資料3-2-3-(2)-20_専攻科1年対象長期インターンシップの内容がわかる資料.pdf			

資料3-2-3-(2)-21_準学士課程4年対象長期学外実習への参加状況がわかる資料.pdf		
資料3-2-3-(2)-22_専攻科1年対象長期特別実習への参加状況がわかる資料.pdf		

観点3-2-④ 学生の部活動や自治会活動等の課外活動が円滑に行われるよう、必要な支援を行う体制が整備されていること

直近の認証評価において本観点に係る「改善を要する点」の指摘がなく、各項目の内容に大きな変更がない場合は、本観点の分析は不要。その場合、下記「直近の認証評価における指摘等なし」にチェック☑すること。

直近の認証評価における指摘等なし

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学生の課外活動に対する支援体制が整備されていること。 ○ 整備されている ◎ 整備されていない	◇支援体制等が確認できる資料(関係規程、組織図、施設の整備状況が確認できる資料等)		
(2) (1)の体制において、責任の所在が明確になっていること。 ○ 明確になっている ◎ 明確になっていない	◇(1)の体制において、責任の所在が確認できる資料(関係規程等)		
(3) (1)の体制は「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」(平成30年3月 スポーツ庁)に基づいたものになっているか。【より望ましい取組として分析】 ○ なっている ◎ なっていない	◇運動部活動の方針、活動時間・休養日に関する規定、地域のスポーツ団体との連携が確認できる資料等		

観点3-2-⑤ 学生寮を学生の生活及び勉学の場として整備していること

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学生寮が整備されているか。 ◎ 整備されている ○ 整備されていない	◇整備状況が確認できる資料(関係規程等) 資料3-2-5-(1)-01_北九州工業高等専門学校学則.pdf 資料3-2-5-(1)-02_北九州工業高等専門学校学生寮規則.pdf 資料3-2-5-(1)-03_北九州工業高等専門学校学生寮細則.pdf	学則第42条1項及び2項	
(2) 生活の場として整備されていること。 ◎ 整備されている ○ 整備されていない	◇生活支援の内容が確認できる資料(寮生のしおり等) 資料3-2-5-(2)-01_寮生心得.pdf 資料3-2-5-(2)-02_入寮のしおり.pdf		
(3) 勉学の場として整備されていること。 ◎ 整備されている ○ 整備されていない	◇学習支援の内容が確認できる資料(自習室の整備状況、自習時間の設定が確認できる資料等) 資料3-2-5-(2)-01_寮生心得.pdf 資料3-2-5-(2)-02_入寮のしおり.pdf 資料3-2-5-(3)-01_寄宿舎図面.pdf		再掲 再掲

<p>(4) 管理・運営体制が整備されていること。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 整備されている <input type="radio"/> 整備されていない</p>	<p>◇管理・運営体制が確認できる資料(関係規程等)</p> <p>資料3-2-5-(1)-02_北九州工業高等専門学校学生寮規則.pdf</p>		再掲
<p>(5) 学生の意見等を把握し、改善する体制が整備されていること。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 整備されている <input type="radio"/> 整備されていない</p>	<p>◇実施体制等が確認できる資料(関係規程等、学生からの意見を集約するための仕組みを示す資料(目安箱等))</p> <p>資料3-2-5-(2)-02_入寮のしおり.pdf</p> <p>資料3-2-5-(5)-01_学生寮の日常生活について.pdf</p> <p>資料3-2-5-(5)-02_意見箱の設置.pdf</p>	<p>毎年4月、5月に学生寮担当教員による全寮生の個人面談を実施している。</p>	再掲

観点3-2-⑥ 学生に対する経済面での援助が行われていること

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック○)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
<p>(1) 経済面での相談・助言・支援が行われているか。(複数チェック可)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 相談・助言</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 奨学金</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 入学科・授業料減免等</p> <p><input type="checkbox"/> 特待生</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 緊急時の貸与等の制度</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他</p>	<p>◇チェックした項目の実施状況が確認できる資料(学生便覧、関係規程、ウェブサイトでの明示、学生への周知・案内文等)</p> <p>資料3-2-6-(1)-01_厚生補導委員会規則.pdf</p> <p>資料3-2-6-(1)-02_奨学金、入学金・授業料(学生便覧p28-29).pdf</p> <p>資料3-2-6-(1)-03_入学科免除及び徴収猶予に関する取扱規則.pdf</p> <p>資料3-2-6-(1)-04_授業料等の免除及び徴収猶予に関する規則.pdf</p> <p>資料3-2-6-(1)-05_「大学等における修学の支援に関する法律」による授業料及び入学科の免除に関する取扱規則.pdf</p> <p>資料3-2-6-(1)-06_学納金・奨学金制度・授業料免除(HP掲載).pdf</p> <p>資料3-2-6-(1)-07_日本学生支援機構給付奨学金(家計急変)の募集について.pdf</p> <p>資料3-2-6-(1)-08_福岡県教育文化奨学財団奨学生の募集について.pdf</p> <p>資料3-2-6-(1)-09_R6年度授業料免除実績.pdf</p> <p>資料3-2-6-(1)-10_R6年度民間等奨学金貸与・受給状況.pdf</p> <p>◆その他の項目をチェックした場合は、具体的な内容を列記し、その状況が確認できる資料を提示する。</p> <p>資料3-2-6-(1)-11_令和7年度入学科及び授業料免除について(通知).pdf</p> <p>資料3-2-6-(1)-12_卓越した学生に対する授業料免除について.pdf</p>	<p>高専機構本部からの通知(3-2-⑥-(1)-11)に基づき、学生主事・専攻科主事・各コース長より、成績優秀者もしくは課外活動・研究等で顕著な成績を挙げた学生の推薦を依頼(3-2-⑥-(1)-12)し、運営委員会での審議を経て対象者を決定し、授業料の減免を実施している。</p>	

3-2 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

領域3

優れた点

改善を要する点			

領域4 財務基盤及び管理運営 (※R7 自己点検結果)

基準			
4-1 財務運営が学校の目的に照らして適切であること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎) 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 <input checked="" type="radio"/> 満たしている <input type="radio"/> 満たしていない			
観点4-1-① 学校を設置する法人の財務諸表等が適切な形で公表され、また、財務に係る監査等が適正に行われていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 法令等に基づき、財務諸表等が作成・公表されていること。 ◎ 公表されている ○ 公表されていない	◇作成・公表状況が確認できる資料(【様式2-4】ウェブサイト掲載項目チェック表等) 資料4-1-1-(1)-01_高専機構会計規則.pdf	財務諸表の作成については、第6章第44条に定めたとおり設置者である独立行政法人国立高等専門学校機構が作成している。 https://www.kosen-k.go.jp/release/independence 財務諸表の公表については、上記URLにて公表されている。	
(2) 財務に係る監査等が実施されていること。 ◎ 実施されている ○ 実施されていない	◇監査等が実施されていることが確認できる資料(学内会計監査規程等(科学研究費助成事業等の外部資金に関する監査規程も含む。)) 資料4-1-1-(2)-01_北九州工業高等専門学校会計監査実施規則.pdf 資料4-1-1-(2)-01_高専機構公的研究費等の取扱いに関する規則.pdf ◇監査報告書等(外部監査、学内監査の監査報告書) 資料4-1-1-(2)-03_R6内部監査報告書.pdf 資料4-1-1-(2)-04_R5高専監査報告書.pdf	学内の会計監査実施規則 高専間で相互監査を行うことを定めた規則(第22条第4項) R6の高専監査において、本校は被監査校対象外となっていたため、R5の監査報告書を提出する。	
観点4-1-② 教育研究活動に必要な予算が配分され、経費が執行されていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 過去5年間の財務状態が適切な状況となっていること。 ◎ なっている ○ なっていない	◇設置者の財務諸表等(過去5年間) 資料4-1-2-(1)-01_国立高等専門学校財務諸表(R2-R6).pdf	設置者である独立行政法人国立高等専門学校機構が作成している。 https://www.kosen-k.go.jp/release/independence	
(2) 過去5年間の収支状況が適切となっていること。 ◎ 適切となっている ○ 適切となっていない	◇設置者の決算報告書(過去5年間) 資料4-1-2-(1)-01_国立高等専門学校財務諸表(R2-R6).pdf	設置者である独立行政法人国立高等専門学校機構が作成している。 https://www.kosen-k.go.jp/release/independence	再掲
4-1 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			

基準
4-2 管理運営体制が整備され、機能していること

基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)
 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。
 満たしている 満たしていない

観点4-2-① 学校の管理運営体制が、適切な規模と機能を有していること

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 管理運営体制に関する規程等が整備されていること。 ◎ 整備されている ○ 整備されていない	◇管理運営に関する諸規程、整備状況が確認できる資料 資料2-2-2-(1)-01_北九州工業高等専門学校運営委員会規則.pdf		再掲
(2) 委員会等の体制が整備されていること。 ◎ 整備されている ○ 整備されていない	◇諸規程、整備状況が確認できる資料(組織図等) 資料2-2-1-(1)-02_組織図.pdf		再掲
(3) 校長、副校長、主事等の役割分担が明確になっていること。 ◎ なっている ○ なっていない	◇学校の管理運営に携わることとされている者の役割分担が確認できる資料 資料2-2-1-(1)-01_北九州工業高等専門学校内部組織規則.pdf		再掲

観点4-2-② 法令遵守に係る取組及び危機管理に係る取組のための体制が整備されていること

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学校として、責任の所在を明確にした危機管理を含む安全管理体制が整備されていること。 ○ 整備されている ◎ 整備されていない	◇【様式2-7】法令遵守事項、危機管理体制等一覧 資料4-2-2-(1)-01_北九州工業高等専門学校危機管理規則.pdf 資料4-2-2-(1)-02_北九州工業高等専門学校防災管理規則.pdf 資料4-2-2-(1)-03_北九州工業高等専門学校におけるリスクアセスメント対象物質の取扱要領.pdf 資料4-2-2-(1)-04_北九州工業高等専門学校放射線障害防止規則.pdf 資料4-2-2-(1)-05_北九州工業高等専門学校遺伝子組換え実験安全倫理規則.pdf	【改善】防災管理規則及び放射線障害防止規則が更新されていない。高圧ガス管理に関する体制が整備されていない。	
(2) 危機管理マニュアル、学校防災マニュアル等が整備されていること。 ◎ 整備されている ○ 整備されていない	◇危機管理マニュアル、学校防災マニュアル等 資料4-2-2-(2)-01_北九州高専危機管理マニュアル (R7).pdf	危機管理マニュアルを整備している。	
(3) (2)に基づき、定期的に訓練を行うなど、危機に備えた活動が行われていること。 ◎ 行われている ○ 行われていない	◇訓練や講習会等の実施に関する規程・計画等 資料4-2-2-(3)-01_eメッセージを利用した緊急時安否確認訓練実施要領.pdf 資料4-2-2-(3)-02_防火防災訓練計画書.pdf	緊急時安否確認訓練及び防火防災避難訓練を実施している。	

観点4-2-③ 学校として持続的な研究成果が創出されるような研究環境の整備や充実に向けた体制の整備や措置が組織的に図られているか【より望ましい取組として分析】				
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲	
(1) 教員に対して研究の水準の維持向上及び活性化を図るために行っている措置や制度があるか。(複数チェック可)【より望ましい取組として分析】 <input type="checkbox"/> 学位取得に関する支援 <input type="checkbox"/> 教員表彰制度の導入 <input type="checkbox"/> 企業研修への参加支援 <input checked="" type="checkbox"/> 校長裁量経費等の予算配分 <input type="checkbox"/> ゆとりの時間確保策の導入 <input type="checkbox"/> サバティカル制度の導入 <input checked="" type="checkbox"/> 他の高等教育機関・研究機関との人事交流 <input type="checkbox"/> その他	◇チェックした項目の実施状況が確認できる資料(関係規程、実績等)			
	資料4-2-3-(1)-01_令和6年度第5ブロック研究・産学連携・地域連携合同会議及び第11回日本弁理士会九州会との交流会の開催について(通知).pdf	第5ブロックの研究推進ボード会議を通じた高専門の情報共有共有を行っている。在外や内地研究員制度を利用して、教員を他の機関に派遣している。 ※過去5年:在外2名、内地2名		
	資料4-2-3-(1)-02_令和7年度内地研究員の受入れについて(通知).pdf			
	資料4-2-3-(1)-03_令和6年度在外研究員の選考結果について(通知).pdf			
	資料4-2-3-(1)-04_令和4年度在外研究員の選考結果について(通知).pdf			
	資料4-2-3-(1)-05_令和3年度内地研究員開始届.pdf			
	資料4-2-3-(1)-06_R7第1回予算委員会資料.pdf			
	◆その他の項目をチェックした場合は、具体的な内容を列記し、その状況が確認できる資料を提示する。			
(2) 研究を促進するため、研究施設・設備を有効に活用する工夫に努めているか。【より望ましい取組として分析】 <input checked="" type="radio"/> 努めている <input type="radio"/> 努めていない	◇関係規程、活用計画や実績等			
	資料4-2-3-(2)-01_北九州工業高等専門学校技術相談等の実施について.pdf	本学の機器を利用した技術相談の規定を定め、それをもとに外部資金獲得につなげるよう努めている。		
	資料4-2-3-(2)-02_過去5年間の技術相談対応一覧.pdf			
(3) 外部の財務資源(科学研究費助成事業による外部資金、受託研究、共同研究、受託試験、奨学寄附金、同窓会等からの寄附金等)を積極的に受け入れる取組が行われているか。【より望ましい取組として分析】 <input checked="" type="radio"/> 行われている <input type="radio"/> 行われていない	◇過去5年間の外部の財務資源の受入れの取組及び受入実績に関する資料			
	資料4-2-3-(2)-01_北九州工業高等専門学校技術相談等の実施について.pdf	本学の機器を利用した技術相談の規定を定め、それをもとに外部資金獲得につなげるよう努めている。※過去5年:技術相談11件 毎年科研費獲得に向けたトレーニングや査読を実施している。(学内及び第5ブロック単位)	再掲	
	資料4-2-3-(3)-01_第1回KAKENカフェを開催案内.pdf			
	資料4-2-3-(3)-02_科研費学内査読制度実施要領(2025年度).pdf			
	資料4-2-3-(3)-03_令和6年度産学連携事務担当者スキルアップ研修実施要項(第5ブロック).pdf			
	資料4-2-3-(3)-04_令和6年度第5ブロック研究推進ボード「科研費獲得オンライントレーニング・報告会」募集要項.pdf			
(4) 教員・学生・研究に携わる職員に対して研究倫理に関する必要な研修等を実施する体制があるか。【より望ましい取組として分析】 <input checked="" type="radio"/> 体制がある <input type="radio"/> 体制がない	◇実施体制・実施方針・内容・方法が確認できる資料(体制図、研究倫理規程等の関係規程、公的研究費等使用マニュアル等)			
	資料4-2-3-(4)-01_北九州工業高等専門学校学生に対する研究倫理教育に関する実施要領.pdf			
	資料4-2-3-(4)-02_令和7年度研究倫理教育の実施について.pdf			

(5)(1)～(4)の学校としての取組により、持続的に研究成果が創出されていることを確認する。 【より望ましい取組として分析】 <input checked="" type="radio"/> 確認できる <input type="radio"/> 確認できない	◇持続的に研究成果が得られていることが確認できる資料		
	北九州高専研究報告(機関リポジトリ)		
	https://kitakyushu.repo.nii.ac.jp/?page=1&size=20&sort=custom_sort		
	資料4-2-3-(5)-01_北九州工業高等専門学校研究報告第59号投稿募集ついて(通知).pdf		

観点4-2-④ 学校の組織的な取組として行う地域における連携による活動について、その推進に向けた体制の整備や措置が図られているか【より望ましい取組として分析】

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 地域貢献活動・地域の体制が整備されている <input type="radio"/> 整備されている	観点4-2-④は、評価を行わない		
(2) 外部の教育・研究 <input type="radio"/> 活用されている			
(3)(1)～(2)の学校として分析 <input type="radio"/> 上げられている			

4-2 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

基準
4-3 管理運営を円滑に行うための事務組織が、適切な規模と機能を有していること

基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎) 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 <input checked="" type="radio"/> 満たしている <input type="radio"/> 満たしていない
--

観点4-3-① 適切な規模と機能を有する管理運営を円滑に行うための事務組織が整備されていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 管理運営を行う事務組織の体制が規程等に基づき整備されていること。 ◎ 整備されている ○ 整備されていない	◇体制について定めた規程等 資料2-2-1-(1)-01_北九州工業高等専門学校内部組織規則.pdf	内部組織規則に基づき事務体制が整備されている。	再掲
観点4-3-② 管理運営体制及び管理運営を円滑に行うための事務組織が十分に任務を果たすことができるよう、研修等、管理運営に関わる職員の資質の向上を図るための取組(スタッフ・ディベロップメント*)が組織的に行われていること *スタッフ・ディベロップメント(以下、「SD」という。)			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) SDが組織的に実施されていること。 ◎ 実施されている ○ 実施されていない	◇実施体制・実施方針・内容・方法が確認できる資料(SDの実施方針、委員会規程、委員会等の組織関係図等)、実施状況一覧 資料4-3-2-(1)-01_北九州工業高等専門学校事務改善検討委員会規則.pdf 資料4-3-2-(1)-02_令和7年度第1回事務改善検討委員会議事要録.pdf	事務改善検討委員会にて、SDの実施方針や内容を決定、実施している。	
4-3 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			
基準 4-4 教員と事務職員等との役割分担が適切であり、連携体制が確保されていること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎) 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 ◎ 満たしている ○ 満たしていない			
観点4-4-① 教員と事務職員等の適切な役割分担の下、必要な連携体制が確保されていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 教員、事務職員や技術職員の適切な役割分担の下、必要な連携体制が確保されていること。 ◎ 確保されている ○ 確保されていない	◇全校的な委員会等の体制が確認できる資料(関係規程等) ◇校務分掌・分担の一覧等 資料2-2-1-(1)-01_北九州工業高等専門学校内部組織規則.pdf 資料4-4-1-(1)-01_各種委員会等一覧.pdf		再掲

<p>4-4 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。</p>			
<p>基準 4-5 学校の教育研究活動等に関する情報の公表が適切であること</p>			
<p>基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎) 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 <input type="radio"/> 満たしている <input checked="" type="radio"/> 満たしていない</p>			
<p>観点4-5-① 法令等が公表を求める事項が公表されていること</p>			
<p>自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>	<p>備考</p>	<p>再掲</p>
<p>(1) 法令に従い、以下の教育情報が適切に公表されていること。(すべての項目にチェック必須)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 教育研究上の基本組織</p> <p><input type="checkbox"/> 学校の教育上の目的及び学校教育法施行規則第165条の2第1項の規定により定める方針</p> <p><input type="checkbox"/> 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画</p> <p><input type="checkbox"/> 入学者の選抜に関すること</p> <p><input type="checkbox"/> 入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数、進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況並びに外国人留学生の数</p> <p><input type="checkbox"/> 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たったの基準</p> <p><input type="checkbox"/> 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境</p> <p><input type="checkbox"/> 授業料、入学金その他の高等専門学校が徴収する費用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 高等専門学校が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援</p> <p><input type="checkbox"/> 基幹教員に関する情報</p>	<p>◇【様式2-4】ウェブサイト掲載項目チェック表</p>	<p>【要改善】コースごとの養成する人物像がウェブサイト上で公表されていない。</p> <p>【要改善】一部researchmapに学位が掲載していない、業績、職務上の実績が更新されていない。</p> <p>【要改善】解答又は解答例及び出題意図の掲載がされていない。</p> <p>【要改善】収容定員がウェブサイト上で公表されていない。</p> <p>【要改善】卒業・修了認定基準がウェブサイト上で公表されていない。</p> <p>【要改善】運動施設の概要・学習環境の概要がウェブサイト上で公表されていない。</p> <p>【要改善】検定料がウェブサイト上で公表されていない。</p> <p>基幹教員に関する規定を適用していない</p>	
<p>4-5 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。</p>			

領域4

優れた点

改善を要する点

領域5 準学士課程の教育活動の状況 (※R7 自己点検結果)

基準			
5-1 DPが具体的かつ明確であること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎) 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 <input checked="" type="radio"/> 満たしている <input type="radio"/> 満たしていない			
観点5-1-1① DPが、学校の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定されていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 関係法令やガイドラインを踏まえ、DPが定められていること。 <input checked="" type="radio"/> 定められている <input type="radio"/> 定められていない	◇準学士課程のDP		
	資料5-1-1-(1)-01_準学士課程のDP.pdf	本校準学士課程のディプロマ・ポリシーはガイドラインを踏まえた上で、	
	資料5-1-1-(3)_シラバス_文化地理学.pdf	各コースの学修成果達成目標と各コース共通の学修成果達成目標を定めている。	
		https://www.kct.ac.jp/about/3policy/dp	
(2) DPが、「何ができるようになるか」に力点を置いたものであり、かつ準学士課程全体、各学科の目的(自己評価書Ⅱに記載したもの。)と整合性を有していること。 <input checked="" type="radio"/> 整合性を有している <input type="radio"/> 整合性を有していない	◇準学士課程のDP		
	資料5-1-1-(1)-01_準学士課程のDP.pdf		再掲
	資料5-1-1-(2)-01_養成する人物像に関する規則.pdf		
	資料5-1-1-(2)-02_「教育理念等-DP-準学士過程の教育目標-養成する人物像に関する規則-CP」の関連がわかる資料」.pdf		
	資料5-1-1-(2)-03_DP・CP整合性確認表.pdf		
(3)DPが、以下の内容を含んでいること。(すべての項目にチェック必須) <input checked="" type="checkbox"/> 学生が卒業時に身に付ける学力、資質・能力を示している <input checked="" type="checkbox"/> 養成しようとする人材像の内容を示している	◇準学士課程のDP		
	資料5-1-1-(1)-01_準学士課程のDP.pdf		再掲
	資料5-1-1-(2)-02_「教育理念等-DP-準学士過程の教育目標-養成する人物像に関する規則-CP」の関連がわかる資料」.pdf		再掲
5-1 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			

基準 5-2 GPが具体的かつ明確であり、DPと整合していること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎) 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 <input type="radio"/> 満たしている <input checked="" type="radio"/> 満たしていない			
観点5-2-① GPIにおいて、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育・学習方法に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1)CPが、以下の内容を含んでいること。(すべての項目にチェック必須)	◇準学士課程のCP		
<input checked="" type="checkbox"/> どのような教育課程を編成するかを示している	資料5-2-1-(1)-01_準学士課程のCP.pdf	https://www.kct.ac.jp/about/3policy/cp	
<input checked="" type="checkbox"/> どのような教育内容・方法を実施するかを示している		【要改善】学習成果の評価方法についてCP改正済、令和8年度から適用	
<input type="checkbox"/> 学習成果をどのように評価するかを示している			
観点5-2-② GPがDPと整合性を有していること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1)関係法令やガイドラインを踏まえ、CPが定められていること。 <input checked="" type="radio"/> 定められている <input type="radio"/> 定められていない	◇準学士課程のCP 資料5-2-1-(1)-01_準学士課程のCP.pdf	ガイドラインを踏まえた上で、全コース共通及び各専門コースのカリキュラム・ポリシーが定められている。	再掲
(2)CPが、DPとの整合性を有していること。 <input checked="" type="radio"/> 整合性を有している <input type="radio"/> 整合性を有していない	◇準学士課程のCP及びDP 資料5-2-1-(1)-01_準学士課程のCP.pdf 資料5-1-1-(2)-02_「教育理念等-DP-準学士過程の教育目標-養成する人物像に関する規則-CP」の関連がわかる資料」.pdf		再掲 再掲
5-2 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			
基準 5-3 教育課程がGPIに基づき体系的に編成され、授業科目の内容がDPに基づき設定されていること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎) 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 <input checked="" type="radio"/> 満たしている <input type="radio"/> 満たしていない			

観点5-3-① 教育課程が体系的に編成されていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) OPを踏まえて、適切な授業科目が体系的に配置されていること。 ◎ 配置されている ○ 配置されていない	◇授業科目の配置状況が確認できる資料(カリキュラムマップ、コース・ツリー、学生便覧等) 資料5-3-1-(1)-01_教育課程表.pdf 資料5-3-1-(1)-02_分野関連図・科目系統図.pdf		
(2) 一般教育の充実が配慮されていること。 ◎ 配慮されている ○ 配慮されていない	◇一般科目教育課程表、会議の議事録等 資料5-3-1-(1)-01_教育課程表.pdf	高等専門学校設置基準第18条で規定された75単位を上回る80単位を卒業に必要な単位数として設定しており、一般教育の充実に配慮しているといえる。	再掲
(3) 進級に関する規程が整備されていること。 ◎ 整備されている ○ 整備されていない	◇進級に関する規程 資料5-3-1-(3)-01_学業成績の評価等に関する規則.pdf	「北九州工業高等専門学校卒業成績の評価等に関する規則」第5条	
観点5-3-② 創造力、実践力等を育む教育方法の工夫が図られているか【より望ましい取組として分析】			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 創造力を育む教育方法の工夫が行われているか。【より望ましい取組として分析】 ◎ 行われている ○ 行われていない	◇教育プログラムの一環として行われている、創造力を育む教育方法の具体的な工夫が確認できる資料(PBL型の授業や創造型の演習のシラバス、授業教材、受講者数等) 資料5-3-2-(1)-01_令和7年度シラバス(プロジェクトマネジメント演習、電子情報システム工学実験実習C).pdf 資料5-3-2-(1)-02_協学実習と物質化学演習との連携.pdf 資料5-3-2-(1)-03_物質化学実習と物質化学総合実習Ⅱの連携.pdf	自由な発想を促し、失敗が許容される機会を提供するために、ソフトウェア開発に関する実験実習テーマについて、グループに分かれて取り組ませている。 高学年にピアサポーターとして低学年の実験科目に参加させることにより、専門分野に対するピアサポート対象者の理解度を高めるとともにピアサポーター自身の専門力の向上や教授する技術の訓練、コミュニケーションスキルや課題発見力を育成する。 本科5年生科目「物質化学総合実習Ⅱ」では、本科4年生へ分析機器の使用方法的な教授や利用のサポートを行うことにより、自身の専門力のブラッシュアップやコミュニケーションスキル、課題発見力の向上につなげる。	

<p>(2) 実践力を育む教育方法の工夫が行われているか。【より望ましい取組として分析】</p> <p><input checked="" type="radio"/> 行われている <input type="radio"/> 行われていない</p>	<p>◇教育プログラムの一環として行われている、実践力を育む教育方法の具体的な工夫が確認できる資料(シラバス、授業教材、受講者数等)</p> <p>資料5-3-2-(2)-01_キャリア教育推進委員会規則.pdf</p> <p>資料5-3-2-(2)-02_キャリア支援室の概要.pdf</p> <p>資料5-3-2-(2)-03_教育サポーターの雇用.pdf</p> <p>資料5-3-2-(2)-04_北九州地域産業人材育成フォーラム概要.pdf</p> <p>資料5-3-2-(2)-05_令和7年度シラバス(学外実習A・長期学外実習).pdf</p> <p>資料5-3-2-(2)-06_PROGテストの実施.pdf</p> <p>資料5-3-2-(1)-01_令和7年度シラバス(プロジェクトマネジメント演習、電子情報システム工学実験実習C).pdf</p>	<p>インターンシップ関連業務を「キャリア支援室」が担当している。学外実習実習先の開拓や実習支援及び北九州市とのインターンシップ推進事業組織との連携のため、教育サポーターを採用している。また、北九州地域産業人材育成フォーラムに参加し地元企業のインターンシップ参加を推進している。</p> <p>自分自身のジェネリクススキル(コミュニケーション能力、チームワーク、リーダーシップ、論理的思考力、問題解決力、自己管理能力等)の「強み」と「弱み」を知り、今後の高専生活で注力すべきことや、進路選択のヒントが得るため、本科1、4年生・専攻科1年生を対象にPROGテストを実施している。</p> <p>情報系システムの開発分野および業務で即戦力となるよう、具体的なスキルや手順を習得するために、オンラインのプロジェクトマネジメントツール等を活用し、チームでのサービス開発・アプリケーション開発に取り組む。</p>	
<p>(3) その他教育方法の工夫が行われているか。【より望ましい取組として分析】</p> <p><input checked="" type="radio"/> 行われている <input type="radio"/> 行われていない</p>	<p>◇教育プログラムの一環として行われている取組で、(1)(2)以外(例:学生の国際性涵養(かんよう)に向けた教育など)で教育方法の工夫を行っているものがあれば内容を示し、具体的な工夫が確認できる資料を提示する。(シラバス、授業教材、受講者数等)</p> <p>資料5-3-2-(1)-01_令和7年度シラバス(プロジェクトマネジメント演習、電子情報システム工学実験実習C).pdf</p> <p>資料5-3-2-(3)-01_令和7年度シラバス(電子回路B II、計測工学II).pdf</p>	<p>異なる複数の分野の知識や視点を統合し、より広い視野と柔軟な思考力を養うことを目的としている。</p>	再掲
<p>(4) (1)～(3)の学校としての取組の結果、優れた成果が上げられているか。【より望ましい取組として分析】</p> <p><input type="radio"/> 上げられている <input checked="" type="radio"/> 上げられていない</p>	<p>◇これらの取組実績により得られた、学校として優れた成果が確認できる資料</p>		
<p>5-3 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。</p>			

基準			
5-4 DP及びCPIに基づき、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎) 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 <input type="radio"/> 満たしている <input checked="" type="radio"/> 満たしていない			
観点5-4-① 1年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1)1年間の授業を行う期間が、定期試験の期間を含め、35週確保されていること。 ◎ 確保されている ○ 確保されていない	◇35週が確保されている状況が確認できる資料(行事予定表、時間割表等) 資料5-4-1-(1)-01_学則.pdf 資料5-4-1-(1)-02_授業日数(本科).pdf	北九州工業高等専門学校学則第24条	
観点5-4-② 特別活動が90単位時間以上実施されていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1)特別活動が90単位時間以上実施されていること。 ◎ 実施されている ○ 実施されていない	◇特別活動の実施状況が確認できる資料(関係規程、時間割表、特別活動予定表等) 資料5-4-1-(1)-01_学則.pdf 資料5-4-2-(1)-01_特別活動実施要領.pdf	北九州工業高等専門学校学則第23条3項 本科1～3年生を対象に実施し、各学年で30単位時間以上を実施している。	再掲
観点5-4-③ 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること			
直近の認証評価において本観点に係る「改善を要する点」の指摘がなく、各項目の内容に大きな変更がない場合は、本観点の分析は不要。その場合、下記「直近の認証評価における指摘等なし」にチェック☑すること。 <input type="checkbox"/> 直近の認証評価における指摘等なし			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1)CPIに照らして、講義、演習、実験、実習の適切な授業形態が採用されていること。 ◎ 採用されている ○ 採用されていない	◇授業形態の開講状況(学科別の授業形態の構成割合等)が確認できる資料 資料5-4-3-(1)-01_各授業科目の授業形態ごとの開講状況一覧.pdf		
(2)教育内容に応じて行っている、学習指導上の工夫には、どのような工夫があるか。(複数チェック☑可)	◇チェックした項目の実施体制が確認できる資料(シラバス、事例を示す資料等)		
<input checked="" type="checkbox"/> 教材の工夫	資料5-4-3-(2)-01_教材の工夫(電気磁気学AⅠ).pdf	板書の要点をまとめた資料を学生へ配布することにより、ノートをとる労力を最小化し、授業の集中を図る	
<input type="checkbox"/> 少人数教育	資料5-4-3-(2)-02_対話・討論型授業(プロジェクトマネジメント演習).pdf		
<input checked="" type="checkbox"/> 対話・討論型授業	資料5-4-3-(2)-03_情報機器の活用(人工知能、機器分析実験X線回折の工夫).pdf		
<input type="checkbox"/> フィールド型授業	資料5-4-3-(2)-04_基礎学力不足の学生に対する配慮(電気磁気学AⅠ).pdf	再試験に向けた勉強会のお知らせ(電気磁気学AⅠ) 同様の取り組みを、電気磁気学AⅡ、電気磁気学BⅠ・Ⅱでも実施している	
<input checked="" type="checkbox"/> 情報機器の活用			
<input checked="" type="checkbox"/> 基礎学力不足の学生に対する配慮			
<input type="checkbox"/> その他	◆その他の項目をチェックした場合は、その内容を列記し、その状況がわかる資料を提示する。		
(3)CPを踏まえて、シラバスの作成要領を示す文書において記載すべき項目が明確に規定され、それに基づきシラバスが適切に作成されていること。 ◎ 規定・作成されている ○ 規定・作成されていない	◇シラバスの作成要領や具体例等が確認できる資料 資料5-4-3-(3)-01_令和7年度webシラバスの入力について.pdf	【要改善】シラバスの作成要領は教務委員会で検討中	

(4) 組織的に、最新のシラバスが漏れなく提示されているかの確認及び学生のシラバスの活用状況を把握し、その把握した状況を基に改善を行っていること。 <input type="radio"/> 行っていない <input checked="" type="radio"/> 行っていない	◇組織的な確認の体制が確認できる資料 ◇活用状況を把握する体制が確認できる資料 ◇改善を行った事例がある場合は、改善事例の具体的内容が確認できる資料 資料5-4-3-(4)-01_第5回教務委員会議事要録.pdf 資料5-4-3-(4)-02_学年修了時アンケート回答結果抜粋.pdf		
(5) 設置基準第17条第3項の規定に基づき、授業科目(いわゆる履修単位科目)は1単位当たり30単位時間を確保していること。 <input checked="" type="radio"/> 確保している <input type="radio"/> 確保していない	◇状況が確認できる資料(学年暦、時間割、年間行事予定表等) 資料5-4-1-(1)-01_学則.pdf 資料5-4-1-(1)-02_授業日数(本科).pdf 資料5-4-3-(5)-01_【教員宛】成績登録について.pdf 資料5-4-3-(5)-02_中間試験・定期試験を実施しない科目の補講日の報告について.pdf	北九州工業高等専門学校学則第24条	再掲 再掲
(6) (5)の30単位時間授業では、1単位時間を標準50分としていること。 <input checked="" type="radio"/> している <input type="radio"/> していない	◇状況が確認できる資料(学則、時間割等) 資料5-4-3-(6)-01_学業に関する事項.pdf 資料5-4-3-(6)-02_授業時間割.pdf	1単位時間を45分とし、2単位時間連続授業を行っている。これにより、1単位時間での授業を2回実施する場合と比べて、点呼、課題回収、復習、導入及び授業の総括等の時間が短縮され、不足分を補った講義を実施している。このため、標準50分に相当する教育内容を確保できており適切である。	
(7)設置基準第17条第4項の規定に基づき1単位の履修時間が授業時間以外の学修と合わせて45時間である授業科目(いわゆる学修単位科目)を配置している場合には、授業科目ごとのシラバス、あるいはシラバス集、履修要項等に、1単位の履修時間は授業時間以外の学修等を合わせて45時間であることを明示していること。その際、学則に定める授業形態ごとの単位時間数に応じた授業時間以外の学習が設定されていること。 <input checked="" type="radio"/> 明示・設定されている <input type="radio"/> 明示・設定されていない	◇学則(授業形態ごとの授業時間に関する定め) ◇明示状況が確認できる資料(シラバス、履修要項、学生便覧等) 資料5-4-1-(1)-01_学則.pdf	【要改善】シラバスへの記載はR8からの予定	再掲
5-4 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			

基準 5-5 適切な履修指導、支援が行われていること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)			
以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。			
○ 満たしている ◎ 満たしていない			
観点5-5-① 学生のニーズに応えるための履修指導の体制が組織として整備され、指導、助言が行われていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請等を踏まえ、教育課程における具体的な配慮としてどのようなことを行っているか。(複数チェック可) <input type="checkbox"/> 他学科の授業科目の履修を認定 <input checked="" type="checkbox"/> インターンシップによる単位認定 <input type="checkbox"/> 専攻科課程教育との連携 <input checked="" type="checkbox"/> 資格取得に関する教育 <input checked="" type="checkbox"/> 他の高等教育機関との単位互換制度 <input type="checkbox"/> 個別の授業科目内での工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 最先端の技術に関する教育 <input type="checkbox"/> その他	◇チェックした各項目の実施状況が確認できる資料(関係規程、教育課程表、シラバス、実績等) 資料5-5-1-(1)-01_インターンシップによる単位認定.pdf 資料5-5-1-(1)-02_資格取得に関する教育(卒業生が取得できる主な資格).pdf 資料5-5-1-(1)-03_資格取得に関する教育(授業科目別配慮).pdf 資料5-5-1-(1)-04_学則(抜粋).pdf 資料5-5-1-(1)-05_最先端の技術に関する教育.pdf ◆その他の項目をチェックした場合は、その内容を列記し、その状況が確認できる資料を提示する。	北九州工業高等専門学校学則第25、26条	
(2) 他の高等教育機関との単位互換制度を設けている場合、法令に従い適切に取り扱っているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 取り扱っている ○ 取り扱っていない	◇単位互換制度の内容が確認できる資料(関係規程等) 資料5-5-1-(2)-01_他の高等専門学校・大学等で修得した単位の取扱い要領.pdf		
(3) 教育を実施する上でのガイダンスが実施されているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施されている ○ 実施されていない	◇ガイダンス実施要項等 資料5-5-1-(3)-01_令和7年度入学式・組別懇談会スケジュール.pdf 資料5-5-1-(3)-02_2024度安全教育講習のご案内.pdf 資料5-5-1-(3)-03_実験実習安全必携.pdf		
(4) 特別な支援が必要と考えられる学生に対し、教育を実施する上でのガイダンスが実施されているか(複数チェック可) <input checked="" type="checkbox"/> 編入学生 <input checked="" type="checkbox"/> 留学生 <input checked="" type="checkbox"/> 障害のある学生 <input type="checkbox"/> 社会人学生 <input type="checkbox"/> その他	◇チェックした項目の実施状況が確認できる資料(実施日程表、実施要項) ◆専攻科生と合同実施の場合は、その説明を記述する。 ◆受入実績がない場合は、その旨の説明と、受け入れた場合の対応方針を記述する。 資料5-5-1-(4)-01_北九州工業高等専門学校教務委員会規則.pdf 資料5-5-1-(4)-02_令和7年度学生便覧抜粋.pdf 資料5-5-1-(4)-03_令和7年度学務マニュアル.pdf ◆その他の項目をチェックした場合は、その内容を列記し、その状況が確認できる資料を提示する。		

観点5-5-② 学生のニーズに応えるための学習相談の体制が整備され、助言、支援が行われていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学生の自主的学習を進める上で、どのような相談・助言体制が整備されているか。(複数チェック可)	◇チェックした項目の整備状況が確認できる資料(関係規程、学生便覧、学生への周知案内文、その他整備した体制が確認できる資料等)		
<input checked="" type="checkbox"/> 担任制・指導教員制の整備	資料5-5-2-(1)-01_担任制の整備(内部組織規則).pdf	「北九州工業高等専門学校内部組織規則」第17条	
<input type="checkbox"/> オフィスアワーの整備	資料5-5-2-(1)-02_担任制の整備(令和7年度学務マニュアル).pdf		
<input type="checkbox"/> 対面型の相談受付体制の整備	資料5-5-2-(1)-03_電子メールによる相談受付体制.pdf		
<input checked="" type="checkbox"/> 電子メールによる相談受付体制の整備	資料5-5-2-(1)-04_ICTを活用した成績確認(ディプロマ・サブリメント).pdf		
<input checked="" type="checkbox"/> ICTを活用した成績確認や学習相談等に関するシステムの整備	資料5-5-2-(1)-05_資格試験等の支援体制の整備(令和7年度TOEIC IP実施要領).pdf		
<input checked="" type="checkbox"/> 資格試験・検定試験等の支援体制の整備	資料5-5-2-(1)-06_外国への留学に関する支援体制の整備.pdf		
<input checked="" type="checkbox"/> 外国への留学に関する支援体制の整備			
<input type="checkbox"/> その他	◆その他の項目をチェックした場合は、その内容を列記し、その状況が確認できる資料を提示する。		
(2) 学習支援に関して学生のニーズを把握するための制度があるか。(複数チェック可)	◇チェックした項目の制度内容が確認できる資料(関係規程、学生便覧、学生への周知案内文、その他制度が確認できる資料等)		
<input checked="" type="checkbox"/> 担任制・指導教員制の導入	資料5-5-2-(1)-01_担任制の整備(内部組織規則).pdf	「北九州工業高等専門学校学業成績の評価等に関する規則」第17条	再掲
<input checked="" type="checkbox"/> 学生との懇談会	資料5-5-2-(1)-02_担任制の整備(令和7年度学務マニュアル).pdf		再掲
<input type="checkbox"/> 意見投書箱	資料5-5-2-(2)-01_校長、主事等と卒業予定者との懇談会.pdf		
<input type="checkbox"/> その他	◆その他の項目をチェックした場合は、その内容を列記し、その状況が確認できる資料を提示する。		
観点5-5-③ 正規学生に海外で学習する機会が提供され、有効に活用されているか【より望ましい取組として分析】			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 提供された機会を利用して学生が海外で学習しているか。【より望ましい取組として分析】	◇支援体制が確認できる資料(関係規程、利用実績等)		
<input checked="" type="radio"/> 利用して学習している <input type="radio"/> 利用して学習していない	資料5-5-3-(1)-01_海外研修等掲示板.pdf	学生へ研修等の情報を通知している。 国内外の国際交流イベントでの参加等、本校の国際化推進に貢献をした学生に対して、グローバルリーダーバッジを授与している。	
	資料5-5-3-(1)-02_グローバルリーダーバッジ選定基準.pdf		
	資料5-5-3-(1)-03_グローバルリーダーバッジ授与式.pdf		
5-5 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			
基準			
5-6 GPIに基づき、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)			
以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。			
<input type="radio"/> 満たしている <input checked="" type="radio"/> 満たしていない			

観点5-6-① DP及びCPに基づき定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、成績評価基準が組織として策定されていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 成績評価や単位認定に関する基準が、CPIに基づき策定されていること。 ◎ 策定されている ○ 策定されていない	◇成績評価や単位認定に関する規程等 資料5-3-1-(3)-01_学業成績の評価等に関する規則.pdf	「北九州工業高等専門学校学業成績の評価等に関する規則」第3章	再掲
(2) 成績評価や単位認定に関する基準に基づき、各授業科目の単位認定等が行われていること。 ◎ 行われている ○ 行われていない	◇成績評価の組織内でのチェック等、成績評価が適切に実施されていることが確認できる資料(関係規程、成績判定会議に関する資料等) 資料5-6-1-(2)-01_成績評価の組織的チェック実施要項.pdf 資料5-6-1-(2)-02_成績評価の組織的チェックシート・手順書.pdf 資料5-6-1-(2)-03_R7年度前学期成績評価の組織的チェック結果.pdf 資料5-3-1-(3)-02_学業成績の評価等に関する規則_R8.4.1改正.pdf 資料5-6-1-(2)-04_R7年度後学期成績評価の組織的チェック結果.pdf 資料5-6-1-(2)-05_R7年度成績評価の組織的チェック結果分析.pdf		
(3) 1単位の履修時間が授業時間以外の学修と合わせて45時間である授業科目(学修単科目)を配置している場合、授業時間以外の学修についての評価がシラバスの記載どおりに行われていることを学校として把握していること。 ◎ 把握している ○ 把握していない	◇学修単科目の授業時間外学修を把握する体制、手法、手順等に関する資料(会議資料等) 資料5-6-1-(3)_01-第2回教務委員会議事要録.pdf		
観点5-6-② 成績評価認定基準が学生に周知されていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 成績評価や単位認定に関する基準が学生に周知されていること。 ◎ 周知されている ○ 周知されていない	◇周知を図る取組の内容が確認できる資料(学生便覧、ウェブサイトでの明示等) 資料5-6-2-(2)-01_学生便覧抜粋.pdf		
(2) 追試験、再試験、単位追認試験の成績評価方法が定められていること。 ◎ 定められている ○ 定められていない	◇追試験、再試験、単位追認試験の成績評価方法を定めた規程等 資料5-3-1-(3)-01_学業成績の評価等に関する規則.pdf 資料5-6-2-(2)-01_仮進級に関する内規.pdf	追試験:「学業成績の評価等に関する規則」第2条第4項、第3章 再試験:「学業成績の評価等に関する規則」第5条第5項 単位追認試験:「仮進級に関する内規」第3条	再掲
観点5-6-③ 成績評価基準に基づき各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 成績評価や単位認定の客観性、厳格性を担保するため、学校として組織的な措置が行われていること。(すべての項目にチェック必須) <input checked="" type="checkbox"/> 答案の返却 <input checked="" type="checkbox"/> 模範解答や採点基準の提示 <input checked="" type="checkbox"/> 同じ試験問題が繰り返されていないことのチェック <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価の妥当性の事後チェック(シラバス通りに成績評価が行われていることの確認) <input checked="" type="checkbox"/> 試験問題のレベルが適切であることのチェック	◇学校として組織的に取り組まれている内容が確認できる資料(左記に示す事項について、どのようにチェックするかが記された規程等) 資料5-6-3-(1)-01_答案の返却.pdf 資料5-6-3-(1)-02_「微分積分Ⅰ」前学期定期試験模範解答.pdf 資料5-6-1-(2)-01_成績評価の組織的チェック実施要項.pdf 資料5-6-1-(2)-02_成績評価の組織的チェックシート・手順書.pdf 資料5-6-1-(2)-03_R7年度前学期成績評価の組織的チェック結果.pdf 資料5-6-1-(2)-04_R7年度後学期成績評価の組織的チェック結果.pdf 資料5-6-1-(2)-05_R7年度成績評価の組織的チェック結果分析.pdf ◇同一の試験問題が使われていないことの確認に関し、評価実施の前年度に行った組織的な措置が確認できる資料(関係の会議資料、議事録、(あれば)是正措置が行われたことを確認できる資料)		再掲 再掲 再掲 再掲

観点5-6-④ 成績に対する異議申立て制度が組織的に設けられていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 成績評価結果に関する学生からの意見申立ての機会が規程等により定められていること。 ○ 定められている ◎ 定められていない	◇学生からの意見申立てについて定めた規程等 資料5-6-4-(1)-01_令和7年度前学期成績確認スケジュール.pdf	【要改善】規程では定めていないが学生から科目担当教員への成績意見申立期間を設けている。規程の制定については教務委員会で検討、令和8年度適用予定。	
5-6 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			
基準			
5-7 学校の目的及びDPIに基づき、公正な卒業判定が実施されていること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎) 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 ○ 満たしている ◎ 満たしていない			
観点5-7-① 卒業認定基準をDPIに従って、組織として策定していること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学校が定める卒業要件が組織的に策定され、設置基準が定める要件と整合していること。 ○ 整合している ◎ 整合していない	◇卒業要件が組織的に策定されていることが確認できる資料(学則、卒業認定基準等) 資料5-1-1-(1)-01_準学士課程のDR.pdf 資料5-7-1-(1)-01_学則.pdf		再掲
観点5-7-② 策定された卒業要件が学生に周知されていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 卒業認定基準が学生に周知されていること。 ◎ 周知されている ○ 周知されていない	◇周知した資料(学生便覧、ウェブサイトでの明示等) 資料5-7-2-(1)-01_学生便覧抜粋.pdf 資料5-1-1-(1)-01_準学士課程のDR.pdf 資料5-4-3-(6)-01_学業に関する事項.pdf	https://www.kct.ac.jp/about/3policy/dp https://www.kct.ac.jp/campuslife/syllabus	再掲 再掲
観点5-7-③ 卒業の認定が、卒業認定基準に基づき組織的に実施されていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 卒業認定基準に基づき、組織として卒業認定していること。 ◎ している ○ していない	◇卒業判定時に使用する様式等 資料5-7-3-(1)-01_認定会議規則.pdf 資料5-7-3-(1)-02_令和6年度認定会議議事要録.pdf 資料5-7-3-(1)-03_令和6年度認定会議資料(卒業生一覧).pdf		

5-7 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			
基準 5-8 学校の目的及びDPIに基づき、適切な学習成果が得られていること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎) 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 <input type="radio"/> 満たしている <input checked="" type="radio"/> 満たしていない			
観点5-8-① DPIに沿った学習・教育の成果を確認するための体制が整備されていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学生が卒業時に身に付ける学力、資質・能力について、学生・卒業生・進路先関係者等からの意見聴取の結果に基づいて学習・教育の成果を把握・評価するための体制が整備されていること。 <input type="radio"/> 整備されている <input checked="" type="radio"/> 整備されていない	◇体制の整備状況が確認できる資料(関係規程等)	【要改善】自己点検・自己評価委員会から資料提供予定	
観点5-8-② 卒業時の学生からの意見聴取の結果により、学校の目的及びDPIに基づいた学習成果が得られていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学生が卒業時に身に付けた学力、資質・能力について、卒業時の学生に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価が行われていること。 <input checked="" type="radio"/> 行われている <input type="radio"/> 行われていない	◇意見聴取の結果から成果の把握・評価が実施されていることが確認できる資料(卒業時アンケート、アンケート結果、会議資料等) 資料5-1-1-(2)-02_「教育理念等-DP-準学士過程の教育目標-養成する人物像に関する規則-CP」の関連がわかる資料」.pdf 資料5-8-2-(1)-03_令和7年度学年修了時アンケート_本科5年.pdf 資料5-8-2-(1)-04_R7アンケート結果のフィードバック.pdf		再掲
観点5-8-③ 卒業後一定期間の就業経験等を経た卒業生からの意見聴取の結果により、学校の目的及びDPIに基づいた学習成果が得られていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学生が卒業時に身に付けた学力、資質・能力について、卒業生(卒業後5年程度たった者)に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価が行われていること。 <input checked="" type="radio"/> 行われている <input type="radio"/> 行われていない	◇意見聴取の結果から成果の把握・評価が実施されていることが確認できる資料(卒業生アンケート、アンケート結果、会議資料等) 資料5-8-3-(1)-01_令和5年度教育に関するアンケート(就職者向け).pdf 資料5-8-3-(1)-02_令和6年度教育に関するアンケート(進学者対象).pdf 資料5-8-2-(1)-02_アンケート結果のフィードバック.pdf		

観点5-8-④ 就職先等からの意見聴取の結果により、学校の目的及びDPIに基づいた学習成果が得られていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学生が卒業時に身に付けた学力、資質・能力について、卒業生の就職・進学先の関係者に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価が行われていること。 ◎ 行われている ○ 行われていない	◇意見聴取の結果から成果の把握・評価が実施されていることが確認できる資料(就職・進学先アンケート、アンケート結果、会議資料等) 資料5-8-4-(1)-01_令和5年度教育に関するアンケート(企業向け).pdf 資料5-8-4-(1)-02_令和6年度教育に関するアンケート(進学先対象).pdf 資料5-8-2-(1)-02_アンケート結果のフィードバック.pdf		再掲
5-8 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			
基準 5-9 APが具体的かつ明確であること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎) 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 ○ 満たしている ◎ 満たしていない			
観点5-9-① APが学校の目的を踏まえて明確に定められていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1)関係法令及びガイドラインを踏まえ、APが定められていること。 ◎ 定められている ○ 定められていない	◇準学士課程のAP 資料5-9-1-(1)-01_北九州工業高等専門学校3つの方針(DPCRAP).pdf		再掲
(2)APが、学校や学科の目的(自己評価書Ⅱに記載したもの。)、DP、CPを踏まえて策定されていること。 ◎ 策定されている ○ 策定されていない	◇準学士課程のAP 資料5-9-1-(1)-01_北九州工業高等専門学校3つの方針(DPCRAP).pdf		再掲
(3)APが、以下の内容を含んでいること。(すべての項目にチェック必須) <input checked="" type="checkbox"/> 入学者選抜の基本方針 <input checked="" type="checkbox"/> 求める学生像(受け入れる学生に求める学習成果を含む。)	◇準学士課程のAP 資料5-9-1-(1)-01_北九州工業高等専門学校3つの方針(DPCRAP).pdf	【要改善】APIに各選抜ごとの選抜方法が記載されていない。令和7年度第6回・7回入学試験委員会において、AP(入学者選抜の基本方針)の改正案を審議。今後運営委員会に諮問する予定。	再掲

5-9 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			
<p>基準 5-10 学生の受入れが適切に実施されていること</p> <p>基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。</p> <p><input type="radio"/> 満たしている <input checked="" type="radio"/> 満たしていない</p>			
観点5-10-① APIに沿って適切な受入方法が採用されており、実施体制により公正に実施されていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) AP、特に入学選抜の基本方針に沿った入学選抜方法(学生募集の方針、選抜区分(学力選抜、推薦選抜等。)、面接内容、配点・出題方針その他)となっていること。 <input checked="" type="radio"/> なっている <input type="radio"/> なっていない	◇選抜区分ごとの入学選抜募集要項、面接要領、合否判定基準、合否判定様式、入学試験実施状況等が確認できる資料(議事要旨等) 資料5-10-1-(1)-01_R7本科募集要項.pdf 資料5-10-1-(1)-02_R7編入学生募集要項.pdf 資料5-10-1-(1)-03_R7本科推薦実施要項(非公表).docx 資料5-10-1-(1)-04_R7本科学力実施要項(非公表).docx 資料5-10-1-(1)-05_R7編入学試験実施要項(非公表).docx 資料5-10-1-(1)-06_本科推薦合否判定様式(非公表).docx 資料5-10-1-(1)-07_本科学力合否判定様式(非公表).docx 資料5-10-1-(1)-08_編入学合否判定様式(非公表).docx 資料5-10-1-(1)-09_令和6年度第2回入学試験委員会議事要録.pdf 資料5-10-1-(1)-10_AP対応表.pdf		
観点5-10-② APIに沿った学生の受入れが実際に行われているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果が入学選抜の改善に役立てられていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 検証及び検証結果を改善に役立てる体制が整備されていること。 <input checked="" type="radio"/> 整備されている <input type="radio"/> 整備されていない	◇体制の整備状況が確認できる資料(関係規程等) 資料5-10-2-(1)-01_北九州工業高等専門学校入学試験委員会規則.pdf 資料5-10-2-(1)-02_北九州工業高等専門学校運営委員会規則.pdf		
(2) (1)の体制の下、実際に入学した学生が、APIに沿っているかどうかの検証が行われていること。 <input type="radio"/> 行われている <input checked="" type="radio"/> 行われていない	◇検証した資料(会議資料等) 資料5-10-2-(2)-01_令和7年度第4回入学試験委員会議事要録.pdf	【要改善】令和7年度第4回・6回入学試験委員会において具体的な検証方法について審議し、今後、新入生向けのアンケートを実施し、APIに沿った学生の受入れができていくかを確認する予定である。	

<p>(3) (2)の検証の結果が入学選抜の改善に役立てられていること。</p> <p><input type="radio"/> 役立てられている <input checked="" type="radio"/> 役立てられていない</p>	<p>◆検証の結果に基づいた具体的な改善の実施状況を踏まえて、検証の結果が改善に役立てられている状況について、資料を基に記述する。</p>		
<p>5-10 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。</p>			
<p>基準 5-11 実入学者数が入学定員※に対して適正な数となっていること ※収容定員を5で除した数</p>			
<p>基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 満たしている <input type="radio"/> 満たしていない</p>			
<p>観点5-11-① 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないこと</p>			
<p>自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>	<p>備考</p>	<p>再掲</p>
<p>(1) 収容定員が学科ごとに学則で定められていること。また、1学級当たり40人が標準とされていること。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 定められている・標準とされている <input type="radio"/> 定められていない・標準とされていない</p>	<p>◇学則の該当箇所</p> <p>資料5-11-1-(1)-01_学則(抜粋).pdf</p>	<p>第2条第3項に記載の入学定員200を学級数5で除した40名を1学級の標準としている。</p>	
<p>(2) 学科ごとの入学定員と実入学者数との関係を把握し、改善を図るための体制が整備されていること。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 整備されている <input type="radio"/> 整備されていない</p>	<p>◇体制の整備状況が確認できる資料(関係規程等)</p> <p>資料5-10-2-(1)-01_北九州工業高等専門学校入学試験委員会規則.pdf</p> <p>資料5-10-2-(1)-02_北九州工業高等専門学校運営委員会規則.pdf</p>		<p>再掲 再掲</p>
<p>(3) 過去5年間の学科ごとの入学定員に対する実入学者数が適正であること。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 適正である <input type="radio"/> 適正でない</p>	<p>◇[様式2-2]平均入学定員充足率計算表</p>		
<p>(4) 過去5年間で、学科ごとの実入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況にあった場合は、改善の取組を行っていること。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 行っている <input type="radio"/> 行っていない</p>	<p>◆大幅に超過、又は大幅に不足している状況にあった場合には、該当する学科について、実入学者数の改善に資する取組や教育環境等の改善により教育等に支障が生じないように取った対応等、実際に行った事例が確認できる資料を基に記述する。</p>	<p>大幅に超過、又は大幅に不足していた状況はない。</p>	

5-11 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			

領域5

優れた点			
改善を要する点			

領域6 専攻科課程の教育活動の状況 (R7 自己点検結果)

基準			
6-1 DPが具体的かつ明確であること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎) 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 <input checked="" type="radio"/> 満たしている <input type="radio"/> 満たしていない			
観点6-1-① DPが、学校の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定されていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 関係法令及びガイドラインを踏まえ、DPが定められていること。 <input checked="" type="radio"/> 定められている <input type="radio"/> 定められていない	◇専攻科課程のDP		
	資料6-1-1-(1)-01_専攻科課程のDP.pdf	本校専攻科課程は1専攻であるので、ディプロマ・ポリシーはガイドラインを踏まえた上で、専攻科課程全体として定めている。	
(2) DPが、「何ができるようになるか」にカ点を置いたものであり、かつ専攻科課程全体、各専攻の目的(自己評価書Ⅱに記載したものを。)と整合性を有していること。 <input checked="" type="radio"/> 整合性を有している <input type="radio"/> 整合性を有していない	◇専攻科課程のDP		
	資料6-1-1-(1)-01_専攻科課程のDP.pdf	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果①は養成する人物像の第2条(1)(2)に、学修成果②は第2条(3)に、学修成果③は第2条(4)に対応している。	再掲
	資料6-1-1-(2)-01_北九州工業高等専門学校に置く生産デザイン工学専攻で養成する人物像に関する規則.pdf		
	資料6-1-1-(2)-02_「教育理念等-DP-専攻科課程の教育目標-養成する人物像に関する規則-CP」の関連がわかる資料.pdf		
(3)DPが、以下の内容を含んでいること。(すべての項目にチェック必須) <input checked="" type="checkbox"/> 学生が修了時に身に付ける学力、資質・能力を示している <input checked="" type="checkbox"/> 養成しようとする人材像の内容を示している	◇専攻科課程のDP		
	資料6-1-1-(1)-01_専攻科課程のDP.pdf	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果に明確に示してある。	再掲
6-1 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			

基準			
6-2 CPが具体的かつ明確であり、DPと整合していること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)			
以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。			
<input type="radio"/> 満たしている <input checked="" type="radio"/> 満たしていない			
観点6-2-① CPにおいて、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育・学習方法に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1)CPが、以下の内容を含んでいること。(すべての項目にチェック必須)	◇専攻科課程のCP		
<input checked="" type="checkbox"/> どのような教育課程を編成するかを示している	資料6-2-1-(1)-01_専攻科課程のCP.pdf	【要改善】前回の認証評価で指摘があった「学修成果の評価」について未改正 改正案はすでに承認済みでR8.4.1適用で改正される予定	
<input checked="" type="checkbox"/> どのような教育内容・方法を実施するかを示している			
<input type="checkbox"/> 学習成果をどのように評価するかを示している			
観点6-2-② CPがDPと整合性を有していること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) ガイドライン等を踏まえ、CPが定められていること。	◇専攻科課程のCP		
<input checked="" type="radio"/> 定められている <input type="radio"/> 定められていない	資料6-2-1-(1)-01_専攻科課程のCP.pdf	ガイドラインを踏まえてカリキュラム・ポリシーが定められている。	再掲
(2) CPが、DPとの整合性を有していること。	◇専攻科課程のCP及びDP		
<input checked="" type="radio"/> 整合性を有している <input type="radio"/> 整合性を有していない	資料6-2-1-(1)-01_専攻科課程のCP.pdf	カリキュラム・ポリシーにある①②③④はそれぞれディプロマ・ポリシーにある学修成果	再掲
	資料6-1-1-(2)-02_「教育理念等-DP-専攻科課程の教育目標-養成する人物像に関する規則-CP」の関連がわかる資料.pdf	①②③を達成するための科目編成・実施の方針を示している。	再掲
6-2 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			

基準			
6-3 教育課程がCPに基づき体系的に編成され、授業科目の内容がDPに基づき設定されていること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)			
以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。			
<input type="radio"/> 満たしている <input checked="" type="radio"/> 満たしていない			
観点6-3-① 教育課程が体系的に編成されていること			
(根拠理由欄)			
満たしていると判断する場合であって、第三者評価(特例適用専攻科又はJABEE認定プログラムの認定など。以下領域6において同じ。)の結果を利用する場合は、当該結果が利用できると判断した根拠理由を記述すること。なお、利用しない場合は、下記の自己点検・評価結果の項目について分析すること。			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) CPを踏まえて、適切な授業科目が体系的に配置されていること。 ◎ 配置されている ○ 配置されていない	◇授業科目の配置状況が確認できる資料(カリキュラムマップ、コース・ツリー、学生便覧等) 資料6-3-1-(1)-01_専攻科_教育課程表.pdf	【要改善・部外秘】専攻科の分野関連図・科目系統図は現在整備中	
観点6-3-② 準学士課程の教育との連携、及び準学士課程の教育からの発展等を考慮した教育課程となっていること			
(根拠理由欄)			
満たしていると判断する場合であって、第三者評価の結果を利用する場合は、当該結果が利用できると判断した根拠理由を記述すること。なお、利用しない場合は、下記の自己点検・評価結果の項目について分析すること。			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 専攻科の教育課程が、準学士課程の教育との連携、及び準学士課程の教育からの発展等を考慮していること。 ◎ 考慮している ○ 考慮していない	◇連携及び発展等の考慮状況が確認できる資料(科目系統図、連携状況を示す資料等) 資料6-3-1-(1)-01_専攻科_教育課程表.pdf	【要改善・部外秘】専攻科の分野関連図・科目系統図は現在整備中	再掲
観点6-3-③ 創造力、実践力等を育む教育方法の工夫が図られているか【より望ましい取組として分析】			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 創造力を育む教育方法の工夫が行われているか。【より望ましい取組として分析】 ◎ 工夫が行われている ○ 工夫が行われていない	◇教育プログラムの一環として行われている、創造力を育む教育方法の具体的な工夫が確認できる資料(PBL型の授業や創造型の演習のシラバス、授業教材、受講者数等) 資料6-3-3-(1)-01_創造工学実験シラバス.pdf	創造型の実験(多分野の知識・手法による実験での広範囲な問題解決能力の育成)	

<p>(2) 実践力を育む教育方法の工夫が行われているか。【より望ましい取組として分析】</p> <p><input checked="" type="radio"/> 工夫が行われている <input type="radio"/> 工夫が行われていない</p>	<p>◇教育プログラムの一環として行われている、実践力を育む教育方法の具体的な工夫が確認できる資料(シラバス、授業教材、受講者数等)</p> <p>資料6-3-3-(2)-01_知的財産・特許法特論シラバス.pdf</p> <p>資料6-3-3-(2)-02_生産デザイン工学演習シラバス.pdf</p>	<p>実践力を育む教育(現役弁理士による技術者・研究者に必要な知的財産・特許に関する知識の習得)</p> <p>実践力を育む教育(自らの専門工学と他分野工学技術・動向への理解を深める演習)</p>	
<p>(3) その他教育方法の工夫が行われているか。【より望ましい取組として分析】</p> <p><input checked="" type="radio"/> 工夫が行われている <input type="radio"/> 工夫が行われていない</p>	<p>◇教育プログラムの一環として行われている取組で、(1)(2)以外(例:学生の国際性涵養(かんよう)に向けた教育など)で教育方法の工夫を行っているものがあれば内容を示し、具体的な工夫が確認できる資料を提示する。(シラバス、授業教材、受講者数等)</p> <p>資料6-3-3-(3)-01_英語運用能力Ⅰ・Ⅱシラバス.pdf</p>	<p>国際性の涵養に向けた教育(企業紹介を題材とした英語プレゼンテーション能力・運用能力の養成)</p>	
<p>(4)(1)～(3)の学校としての取組の結果、優れた成果が上げられているか。【より望ましい取組として分析】</p> <p><input type="radio"/> 上げられている <input checked="" type="radio"/> 上げられていない</p>	<p>◇これらの取組実績により得られた、優れた成果が確認できる資料</p>		
<p>6-3 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。</p>			

基準
6-4 DP及びCPIに基づき、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること

基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

- 満たしている 満たしていない

観点6-4-① 1年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっていること

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1)1年間の授業を行う期間が、定期試験の期間を含め、35週確保されていること。 <input checked="" type="radio"/> 確保されている <input type="radio"/> 確保されていない	◇35週が確保されている状況が確認できる資料(行事予定表、時間割表等) 資料6-4-1-(1)-01_専攻科_R07授業日一覧.pdf		

観点6-4-② 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること

(根拠理由欄)

満たしていると判断する場合であって、第三者評価の結果を利用する場合は、当該結果が利用できると判断した根拠理由を記述すること。
 なお、利用しない場合は、下記の自己点検・評価結果の項目について分析すること。

自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) CPIに照らして、講義、演習、実験、実習の適切な授業形態が採用されていること。 <input checked="" type="radio"/> 採用されている <input type="radio"/> 採用されていない	◇授業形態の開講状況(専攻別の授業形態の構成割合等)が確認できる資料 資料6-4-2-(1)-01_専攻科_授業科目の授業形態及び構成割合(シラバス掲載).pdf		
(2) 教育内容に応じて行っている、学習指導上の工夫には、どのような工夫があるか。(複数チェック可)	◇チェックした項目の実施体制が確認できる資料(シラバス、事例を示す資料等)		
<input type="checkbox"/> 教材の工夫	資料6-4-2-(2)-01_国際社会学演習シラバス.pdf	対話・討論型授業(国際社会に関する文献読解・討論を中心とした演習形式の授業)	
<input type="checkbox"/> 少人数教育	資料6-3-3-(2)-02_生産デザイン工学演習シラバス.pdf	対話・討論型授業(グループワークにより調査・研究・発表を行うPBL型授業)	再掲
<input checked="" type="checkbox"/> 対話・討論型授業			
<input type="checkbox"/> フィールド型授業			
<input type="checkbox"/> 情報機器の活用			
<input type="checkbox"/> 基礎学力不足の学生に対する配慮			
<input type="checkbox"/> その他	◆その他の項目をチェックした場合は、その内容を列記し、その状況が確認できる資料を提示する。		

<p>(3) CPを踏まえて、シラバスの作成要領を示す文書において記載すべき項目が明確に規定され、それに基づきシラバスが適切に作成されていること。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 作成されている <input type="radio"/> 作成されていない</p>	<p>◇シラバスの作成要領や具体例等が確認できる資料</p> <p>資料6-4-2-(3)-01_令和7年度webシラバスの入力について.pdf</p>	<p>【要改善】シラバスの作成要領は教務委員会で検討中</p>	
<p>(4) 組織的に、最新のシラバスが漏れなく提示されているかの確認及び学生のシラバスの活用状況を把握し、その把握した状況を基に改善を行っていること。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 行っている <input type="radio"/> 行っていない</p>	<p>◇組織的な確認の体制が確認できる資料</p> <p>資料6-4-2-(4)-01_第5回教務委員会議事要録.pdf</p> <p>◇活用状況を把握する体制が確認できる資料</p> <p>資料6-4-2-(4)-02_シラバスの活用状況を把握する取組(修了時アンケート).pdf</p> <p>◇改善を行った事例がある場合は、改善事例の具体的内容が確認できる資料</p>	<p>教務委員会で定期的に確認を行っている。</p> <p>【要改善】シラバスの活用状況データをもとに改善検討を行う予定</p>	
<p>(5) 授業科目ごとのシラバス、あるいはシラバス集、履修要項等に、1単位の履修時間は授業時間以外の学修等を合わせて45時間であることを明示していること。その際、学則に定める授業形態ごとの単位時間数に応じた授業時間以外の学習が設定されていること。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 明示・設定されている <input type="radio"/> 明示・設定されていない</p>	<p>◇学則(授業形態ごとの授業時間に関する定め)</p> <p>資料6-4-2-(5)-01_授業形態ごとの時間数(学則).pdf</p> <p>◇明示状況が確認できる資料(シラバス、履修要項、学生便覧等)</p> <p>資料6-4-2-(5)-02_授業形態ごとの時間数(専攻科履修要項).pdf</p> <p>資料6-4-2-(5)-03_学業に関わる事項について(HP).pdf</p>		
<p>観点6-4-③ CPに基づき、教養教育や研究指導が適切に行われていること</p>			
<p>(根拠理由欄)</p>			
<p>満たしていると判断する場合であって、第三者評価の結果を利用する場合は、当該結果が利用できると判断した根拠理由を記述すること。 なお、利用しない場合は、下記の自己点検・評価結果の項目について分析すること。</p>			
<p>自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)</p> <p>(1) 学生への教養教育や研究指導が、適切に行われていること。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 行われている <input type="radio"/> 行われていない</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p> <p>◇教養教育や研究指導の実施状況が確認できる資料</p> <p>資料6-4-3-(1)-01_専攻科_一般教養科目.pdf</p> <p>資料6-4-3-(1)-02_専攻科_研究科目.pdf</p> <p>◇特別研究の指導の枠組み及び指導状況と内容を示す資料(指導教員・副指導教員の指導状況、技術職員の研究のサポート状況等)</p> <p>資料6-4-3-(1)-03_専攻科_R7指導教員一覧.pdf</p> <p>資料6-4-3-(1)-04_専攻科_研究科目.pdf</p>	<p>備考</p>	<p>再掲</p>
<p>6-4 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。</p>			
<p> </p>			

基準			
6-5 適切な履修指導、支援が行われていること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎) 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 <input checked="" type="radio"/> 満たしている <input type="radio"/> 満たしていない			
観点6-5-① 学生のニーズに応えるための履修指導の体制が組織として整備され、指導、助言が行われていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請等を踏まえ、教育課程における具体的な配慮としてどのようなことを行っているか。(複数チェック可) <input type="checkbox"/> 他専攻の授業科目の履修を認定 <input checked="" type="checkbox"/> インターンシップによる単位認定 <input type="checkbox"/> 準学士課程教育との連携 <input type="checkbox"/> 資格取得に関する教育 <input checked="" type="checkbox"/> 他の高等教育機関との単位互換制度 <input checked="" type="checkbox"/> 個別の授業科目内での工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 最先端の技術に関する教育 <input type="checkbox"/> その他	◇チェックした各項目の実施状況が確認できる資料(関係規程、教育課程表、シラバス、実績等) 資料6-5-1-(1)-01_特別実習・長期特別実習Ⅰ～Ⅲシラバス.pdf 資料6-5-1-(1)-02_専攻科特論Ⅰシラバス.pdf 資料6-5-1-(1)-03_北九州市立大学との単位互換制度に関する協定書・覚書・実施要項・募集要項.pdf 資料6-5-1-(1)-04_生産デザイン工学シラバス.pdf 資料6-5-1-(1)-05_流動システム工学_課題.pdf ◆その他の項目をチェックした場合は、その内容を列記し、その状況が確認できる資料を提示する。	インターンシップによる単位認定 他の高等教育機関との単位互換 他の高等教育機関との単位互換 最先端の技術に関する教育(多分野・分野横断的、先端的な専門知識の会得) 個別の授業科目内での工夫(技術者・研究者に必要な調査・論文読解能力の養成)	
(2) 他の高等教育機関との単位互換制度を設けている場合、法令に従い適切に取り扱っていること。 <input checked="" type="radio"/> 取り扱っている <input type="radio"/> 取り扱っていない	◇単位互換制度の内容が確認できる資料(関係規程等) 資料6-5-1-(2)-01_他校で履修した科目の認定に関する規程類(学則).pdf 資料6-5-1-(1)-02_専攻科特論Ⅰシラバス.pdf 資料6-5-1-(1)-03_北九州市立大学との単位互換制度に関する協定書・覚書・実施要項・募集要項.pdf		再掲 再掲
(3) 教育を実施する上でのガイダンスが実施されているか。 <input checked="" type="radio"/> 実施されている <input type="radio"/> 実施されていない	◇ガイダンス実施要項等 資料6-5-1-(3)-01_R7専攻科履修説明会資料.pdf		
(4) 特別な支援が必要と考えられる学生に対し、教育を実施する上でのガイダンスが実施されているか(複数チェック可) <input checked="" type="checkbox"/> 留学生 <input checked="" type="checkbox"/> 障害のある学生 <input checked="" type="checkbox"/> 社会人学生 <input type="checkbox"/> その他	◇チェックした項目の実施状況が確認できる資料(実施日程表、実施要項) ◆学科生と合同実施の場合は、その説明を記述する。 ◆受入実績がない場合は、その旨の説明と、受け入れた場合の対応方針を記述する。 資料6-5-1-(3)-01_R7専攻科履修説明会資料.pdf ◆その他の項目をチェックした場合は、その内容を列記し、その状況が確認できる資料を提示する。	説明会は専攻科学生全員を対象として実施しており、一部の学生(留学生・障害のある学生・社会人学生など)に限定するものではない。	再掲

観点6-5-② 学生のニーズに応えるための学習相談の体制が整備され、助言、支援が行われていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学生の自主的学習を進める上で、どのような相談・助言体制が整備されているか。(複数チェック可) <input checked="" type="checkbox"/> 担任制・指導教員制の整備 <input type="checkbox"/> オフィスアワーの整備 <input checked="" type="checkbox"/> 対面型の相談受付体制の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 電子メールによる相談受付体制の整備 <input checked="" type="checkbox"/> ICTを活用した成績確認や学習相談等に関するシステムの整備 <input type="checkbox"/> 資格試験・検定試験等の支援体制の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 外国への留学に関する支援体制の整備 <input type="checkbox"/> その他	◇チェックした項目の整備状況が確認できる資料(関係規程、学生便覧、学生への周知・案内文、その他整備した体制が確認できる資料等) 資料6-4-3-(1)-03_専攻科_R7指導教員一覧.pdf 資料6-5-2-(1)-01_専攻科の学生生活(専攻科履修要覧).pdf 資料6-5-2-(1)-02_電子メールによる相談受付体制.pdf 資料6-5-2-(1)-03 ICTを活用した学習相談等に関するシステムの整備.pdf 資料6-5-2-(1)-04_外国への留学に関する支援(国際交流プログラム説明会資料).pdf ◆その他の項目をチェックした場合は、その内容を列記し、その状況が確認できる資料を提示する。	全専攻科生に「専攻科履修要覧」を配布し、周知している。	再掲
(2) 学習支援に関して学生のニーズを把握するための制度があるか。(複数チェック可) <input checked="" type="checkbox"/> 担任制・指導教員制の導入 <input checked="" type="checkbox"/> 学生との懇談会 <input type="checkbox"/> 意見投書箱 <input checked="" type="checkbox"/> その他	◇チェックした項目の制度内容が確認できる資料(関係規程、学生便覧、学生への周知・案内文、その他制度が確認できる資料等) 資料6-4-3-(1)-03_専攻科_R7指導教員一覧.pdf 資料6-5-2-(2)-01_専攻科修了生との懇談会開催通知.pdf ◆その他の項目をチェックした場合は、その内容を列記し、その状況が確認できる資料を提示する。 資料6-5-2-(2)-02_学生の要望事項を把握する取組(修了時アンケート).pdf	修了生を対象としたアンケートでニーズを調査している。	再掲
観点6-5-③ 正規学生に海外で学習する機会が提供され、有効に活用されているか【より望ましい取組として分析】			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 提供された機会を利用して学生が海外で学習しているか。【より望ましい取組として分析】 <input checked="" type="radio"/> 利用して学習している <input type="radio"/> 利用して学習していない	◇支援体制が確認できる資料(関係規程、利用実績等) 資料6-5-1-(2)-01_他校で履修した科目の認定に関する規程類(学則).pdf 資料6-5-3-(1)-01_休学に伴う履修科目の成績等に関する申合せ.pdf 資料6-5-2-(1)-04_外国への留学に関する支援(国際交流プログラム説明会資料).pdf 資料6-5-3-(1)-02_外国への留学に関する支援(海外渡航ガイドブック).pdf 資料6-5-3-(1)-03_外国への留学に関する支援(海外研修等募集掲示板).pdf		再掲
6-5 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			

基準			
6-6 CPIに基づき、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)			
以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。			
<input type="radio"/> 満たしている <input checked="" type="radio"/> 満たしていない			
観点6-6-① DP及びCPIに基づき定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、成績評価基準が組織として策定されていること			
(根拠理由欄)			
満たしていると判断する場合であって、第三者評価の結果を利用する場合は、当該結果が利用できると判断した根拠理由を記述すること。 なお、利用しない場合は、下記の自己点検・評価結果の項目について分析すること。			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 成績評価や単位認定に関する基準が、CPIに基づき策定されていること。 ◎ 策定されている ○ 策定されていない	◇ 成績評価や単位認定に関する規程等 資料6-6-1-(1)-01_専攻科の授業科目の履修等に関する規則.pdf		
(2) 成績評価や単位認定に関する基準に基づき、各授業科目の単位認定等が行われていること。 ◎ 行われている ○ 行われていない	◇ 成績評価の組織内でのチェック等、成績評価が適切に実施されていることが確認できる資料(関係規程、成績判定会議に関する資料等) 資料6-6-1-(2)-01_成績評価の組織的チェック実施要項.pdf 資料6-6-1-(2)-02_成績評価の組織的チェックシート・手順書.pdf 資料6-6-1-(2)-03_R7年度前学期成績評価の組織的チェック結果.pdf 資料6-6-1-(2)-04_R7年度後学期成績評価の組織的チェック結果.pdf 資料6-6-1-(2)-05_令和8年度第3回専攻科委員会議事要録.pdf	学期末の組織的チェックにより適切な成績評価が行われているか確認している。	
(3) 1単位の履修時間が授業時間以外の学修と合わせて45時間である授業科目(学修単位科目)を配置している場合、授業時間以外の学修についての評価がシラバスの記載どおりに行われていることを学校として把握していること。 ○ 把握している ◎ 把握していない	◇ 学修単位科目の授業時間外学修を把握する体制、手法、手順等に関する資料(会議資料等) 資料6-6-1-(2)-01_成績評価の組織的チェック実施要項.pdf 資料6-6-1-(2)-02_成績評価の組織的チェックシート・手順書.pdf 資料6-6-1-(2)-03_R7年度前学期成績評価の組織的チェック結果.pdf 資料6-6-1-(3)-01_時間外学習を把握する取組(授業アンケート).pdf	学期末の組織的チェックにより時間外学習の実施・評価状況を確認している。 学生への各授業科目のアンケートで時間外学習の実施状況を把握している。	再掲 再掲 再掲
観点6-6-② 成績評価認定基準が学生に周知されていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 成績評価や単位認定に関する基準が学生に周知されていること。 ◎ 周知されている ○ 周知されていない	◇ 周知を図る取組の内容が確認できる資料(学生便覧、ウェブサイトでの明示等) 資料6-6-2-(1)-01_成績評価等の周知(専攻科履修要覧).pdf	全専攻科生に「専攻科履修要覧」を配布し、周知している。	
(2) 追試験、再試験、単位追認試験の成績評価方法が定められていること。 ◎ 定められている ○ 定められていない	◇ 追試験、再試験、単位追認試験の成績評価方法を定めた規程等 資料6-6-1-(1)-01_専攻科の授業科目の履修等に関する規則.pdf 資料6-6-2-(2)-01_専攻科の再試験要領.pdf	追試験は本試験と同様の成績評価方法で実施している。 専攻科には仮進級制度がないため、追認試験はない。	再掲

観点6-6-③ 成績評価基準に基づき各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 成績評価や単位認定の客観性、厳格性を担保するため、学校として組織的な措置が行われていること。(すべての項目にチェック必須)	◇学校として組織的に取り組まれている内容が確認できる資料(左記に示す事項について、どのようにチェックするかが記された規程、前年度の確認結果が確認できる資料等)		
<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価の妥当性の事後チェック(シラバス通りに成績評価が行われていることの確認)	資料6-6-1-(2)-01_成績評価の組織的チェック実施要項.pdf		再掲
<input checked="" type="checkbox"/> 答案の返却	資料6-6-1-(2)-02_成績評価の組織的チェックシート・手順書.pdf		再掲
<input checked="" type="checkbox"/> 模範解答や採点基準の提示	資料6-6-1-(2)-03_R7年度前学期成績評価の組織的チェック結果.pdf		再掲
<input checked="" type="checkbox"/> 同じ試験問題が繰り返されていないことのチェック	資料6-6-1-(2)-04_R7年度後学期成績評価の組織的チェック結果.pdf		再掲
<input checked="" type="checkbox"/> 試験問題のレベルが適切であることのチェック	資料6-6-1-(2)-05_令和8年度第3回専攻科委員会議事要録.pdf		再掲
	◇同一の試験問題が使われていないことの確認に関し、評価実施の前年度に行った組織的な措置が確認できる資料(関係の会議資料、議事録、(あれば)是正措置が行われたことを確認できる資料)		
	資料6-6-1-(2)-01_成績評価の組織的チェック実施要項.pdf	組織的チェックおよび同一試験問題に関するガイドラインをもとに令和7年度に	再掲
	資料6-6-3-(1)-01_R6年度成績評価の組織内チェックの実施について.pdf	実施要項を全面的に改正した。	
観点6-6-④ 成績に対する異議申立制度が組織的に設けられていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 成績評価結果に関する学生からの意見申立ての機会が規程等により定められていること。 ○ 定められている ◎ 定められていない	◇学生からの意見申立てについて定めた規程等		
		【要改善】学生からの意見申立てについて定めた規定等がない 現行の規則を改正し、次年度から適用できるよう検討中。	
6-6 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			
基準			
6-7 学校の目的及びDPに基づき、公正な修了判定が実施されていること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)			
以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。			
<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている ○ 満たしていない			

観点6-7-① 修了認定基準をDPに従って、組織として策定していること			
(根拠理由欄)			
満たしていると判断する場合であって、第三者評価の結果を利用する場合は、当該結果が利用できると判断した根拠理由を記述すること。 なお、利用しない場合は、下記の自己点検・評価結果の項目について分析すること。			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学校が定める修了要件が組織的に策定されていること。 ◎ 策定されている ○ 策定されていない	◇ 修了要件が組織的に策定されていることが確認できる資料(学則、卒業認定基準等) 資料6-7-1-(1)-01_専攻科の修了要件(学則).pdf		
観点6-7-② 策定された修了要件が学生に周知されていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 修了認定基準が学生に周知されていること。 ◎ 周知されている ○ 周知されていない	◇ 周知した資料(学生便覧、ウェブサイトでの明示等) 資料6-7-2-(1)-01_専攻科の修了要件の周知(専攻科履修要覧).pdf 資料6-4-2-(5)-03_学業に関わる事項について(HP).pdf	全専攻科生に「専攻科履修要覧」を配布し、周知している。 HPに掲載し、周知している。	再掲
		また、観点4-5-②「法令等が公表を求める事項」として別途追加掲載予定(現状はPDFデータでアップロードしており、検索にかからないため)	
観点6-7-③ 修了の認定が、修了認定基準に基づき組織的に実施されていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 修了認定基準に基づき、組織として修了認定していること。 ◎ している ○ していない	◇ 修了判定時に使用する様式等 資料6-7-3-(1)-01_R6修了認定会議資料.pdf		
6-7 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			

基準 6-8 学校の目的及びDPIに基づき、適切な学習成果が得られていること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎) 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 <input type="radio"/> 満たしている <input checked="" type="radio"/> 満たしていない			
観点6-8-① DPIに沿った学習・教育の成果を確認するための体制が整備されていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学生が修了時に身に付ける学力・資質・能力について、学生・修了生・進路先関係者等からの意見聴取の結果に基づいて学習・教育の成果を把握・評価するための体制が整備されていること。 <input type="radio"/> 整備されている <input checked="" type="radio"/> 整備されていない	◇体制の整備状況が確認できる資料(関係規程等)		
		【要改善】学習・教育の成果を把握・評価するための体制が規則化されていない	
観点6-8-② 修了時の学生からの意見聴取の結果により、学校の目的及びDPIに基づいた学習成果が得られていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学生が修了時に身に付けた学力・資質・能力について、修了時の学生に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価が行われていること。 <input type="radio"/> 行われている <input checked="" type="radio"/> 行われていない	◇意見聴取の結果から成果の把握・評価が実施されていることが確認できる資料(修了時アンケート、アンケート結果、会議資料等) 資料6-8-2-(1)-01_R6年度_修了時アンケート(DPに関する項目抜粋).pdf 資料6-8-2-(1)-02_R7年度_修了時アンケート_専攻科2年.pdf 資料6-6-1-(2)-05_令和8年度第3回専攻科委員会議事要録.pdf	【要改善】アンケート結果をもとに専攻科委員会で検証を行う予定	
			再掲
観点6-8-③ 修了後一定期間の就業経験等を経た修了生からの意見聴取の結果により、学校の目的及びDPIに基づいた学習成果が得られていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学生が修了時に身に付けた学力・資質・能力について、修了生(修了直後でない者)に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価が行われていること。 <input type="radio"/> 行われている <input checked="" type="radio"/> 行われていない	◇意見聴取の結果から成果の把握・評価が実施されていることが確認できる資料(修了生アンケート、アンケート結果、会議資料等) 資料6-8-3-(1)-01_R6年度_進学者アンケート.pdf 資料6-8-3-(1)-02_R5年度_就職者アンケート.pdf	【要改善】アンケート結果をもとに専攻科委員会で検証を行う予定	
観点6-8-④ 就職先等からの意見聴取の結果により、学校の目的及びDPIに基づいた学習成果が得られていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学生が修了時に身に付けた学力・資質・能力について、修了生の就職・進学先の関係者等に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価が行われていること。 <input type="radio"/> 行われている <input checked="" type="radio"/> 行われていない	◇意見聴取の結果から成果の把握・評価が実施されていることが確認できる資料(就職・進学先アンケート、アンケート結果、会議資料等) 資料6-8-4-(1)-01_R6年度_進学先アンケート.pdf 資料6-8-4-(1)-02_R5年度_就職先アンケート.pdf	【要改善】アンケート結果をもとに専攻科委員会で検証を行う予定	
6-8 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			

基準 6-9 APが具体的かつ明確であること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎) 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 <input checked="" type="radio"/> 満たしている <input type="radio"/> 満たしていない			
観点6-9-① APが学校の目的を踏まえて明確に定められていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1)関係法令やガイドラインを踏まえ、APが定められていること。 <input checked="" type="radio"/> 定められている <input type="radio"/> 定められていない	◇専攻科課程のAP 資料6-9-1-(1)-01_北九州工業高等専門学校3つの方針(DRCR,AP).pdf		
(2)APが、以下の内容を含んでいること。(すべての項目にチェック必須) <input checked="" type="checkbox"/> 入学者選抜の基本方針 <input checked="" type="checkbox"/> 求める学生像(受け入れる学生に求める学習成果を含む。)	◇専攻科課程のAP 資料6-9-1-(1)-01_北九州工業高等専門学校3つの方針(DRCR,AP).pdf	【要改善】 入学者選抜の基本方針において、選抜毎の方針の定めがない。第6回専攻科入学試験委員会(R7.10.28)審議を行い、選抜毎の方針を定める改正案を作成。令和7年度第7回運営委員会へ諮問予定。	再掲
6-9 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			
基準 6-10 学生の受入れが適切に実施されていること			
基準の自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎) 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 <input type="radio"/> 満たしている <input checked="" type="radio"/> 満たしていない			
観点6-10-① APに沿って適切な受入方法が採用されており、実施体制により公正に実施されていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック◎)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) AP、特に入学者選抜の基本方針に沿った入学者選抜方法(学生募集の方針、選抜区分(学力選抜、推薦選抜等。)、面接内容、配点・出題方針その他)となっていること。 <input checked="" type="radio"/> なっている <input type="radio"/> なっていない	◇選抜区分ごとの入学者選抜募集要項、面接要領、合否判定基準、合否判定様式、入学試験実施状況等が確認できる資料(議事要旨等) 資料6-10-1-(2)-01_専攻科募集要項及び調査書様式.pdf 資料6-10-1-(2)-02_R7専攻科推薦実施要項(非公表).docx 資料6-10-1-(2)-03_R7専攻科学力実施要項(非公表).docx 資料6-10-1-(2)-04_専攻科推薦合否判定様式(非公表).docx 資料6-10-1-(2)-05_専攻科学力合否判定様式(非公表).docx 資料6-10-1-(2)-06_令和6年度第9回専攻科委員会(入試部門)議事要録外.pdf 資料6-10-1-(2)-07_AP対応表.pdf		

観点6-11-① 実入学者数が適切な数となっていること			
自己点検・評価結果欄(該当する○欄をチェック○)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 収容定員(又は入学定員)が専攻ごとに学則等で定められていること。 ● 定められている ○ 定められていない	◇学則の該当箇所 資料6-11-1-(1)-01_学則(抜粋).pdf		
(2) 専攻ごとの入学定員(収容定員を定めている場合は、収容定員を2で除した数)と実入学者数との関係を把握し、改善を図るための体制が整備されていること。 ● 整備されている ○ 整備されていない	◇体制の整備状況が確認できる資料(関係規程等)		
	資料6-10-2-(1)-01_北九州工業高等専門学校専攻科入学試験委員会規則.pdf		再掲
	資料6-10-2-(1)-02_北九州工業高等専門学校運営委員会規則.pdf		再掲
(3) 過去5年間の専攻科全体の実入学者数が適切であること。 ● 適切である ○ 適切ではない	◇【様式2-2】平均入学定員充足率計算表		
	◆入学定員が定められている専攻科において、実入学者数が入学定員をから大幅に乖離(かいり)している場合には、学校としてその状況を把握、分析した上で、教職員の配置、教育研究施設・設備等の整備がなされていること、また適切な教育成果が上がっていることを確認する。		

6-11 特記事項 この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			

領域6

優れた点			
改善を要する点			